フィニッシャー ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、以下の製品のフィニッシャーに対応しています。

MICROLINE Pro 9800PS-X
MICROLINE Pro 9800PS-S
MICROLINE Pro 9800PS-E
MICROLINE 9600PS

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

本書の表記

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

- MICROLINE 9600PS → ML9600PS
- MICROLINE Pro 9800PS-X → MLPro9800PS-X
- MICROLINE Pro 9800PS-S → MLPro9800PS-S
- MICROLINE Pro 9800PS-E → MLPro9800PS-E
- MLPro9800PS-X、MLPro9800PS-S、MLPro9800PS-Eの総称 → MLPro9800PS
- Microsoft® Windows® Server 2003 operating system日本語版 → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0日本語版 → WindowsNT4.0
- Windows Server 2003、WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0の総称→Windows
- MacOS 8.1/8.5/8.5.1/8.6/9.0/9.0.4/9.1/9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS
- MacOS 9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS 9
- Mac OS X 10.1以降 → Mac OS X

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

一般的な注意

<table>
<tr><th colspan="2">⚠警告</th></tr>
<tr><td></td><td>プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。
高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。
プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。
火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。
火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターへ連絡してください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。
火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>通気口に物を差し込まないでください。
感電、火災、ケガのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。
感電、火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。
やけどのおそれがあります。</td></tr>
<tr><td></td><td>トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。</td></tr>
</table>

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

諸注意

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目次

1 フィニッシャーを設置する

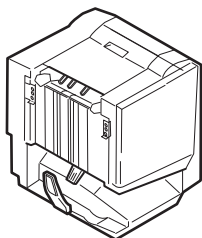
製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

このフィニッシャーは総重量が約60Kgありますので、お取り扱いに注意してください。

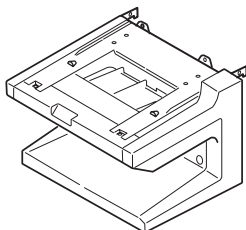
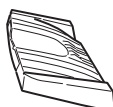
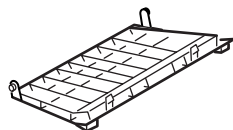
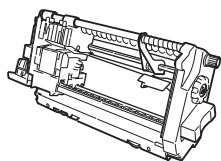
フィニッシャーの箱に入っています

□ フィニッシャー（本体）

□ 架台

□ スタッカ

□ ジャム解除カバー

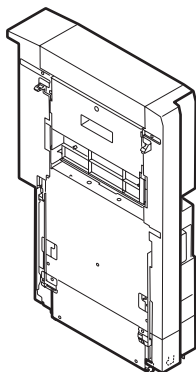
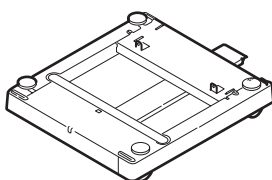
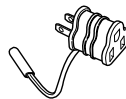
□ ステイプラ

□ バンド

□ ストッパ×2

□ ねじ（大×6本）

メモ　ホチキス針はステイプラ内部にセットされています。

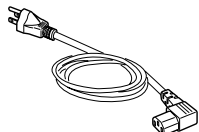
インバーターの箱に入っています

□ インバーター

□ ベース

□ 電源プラグ

□ 保証書

□ ユーザーズマニュアル（本書）

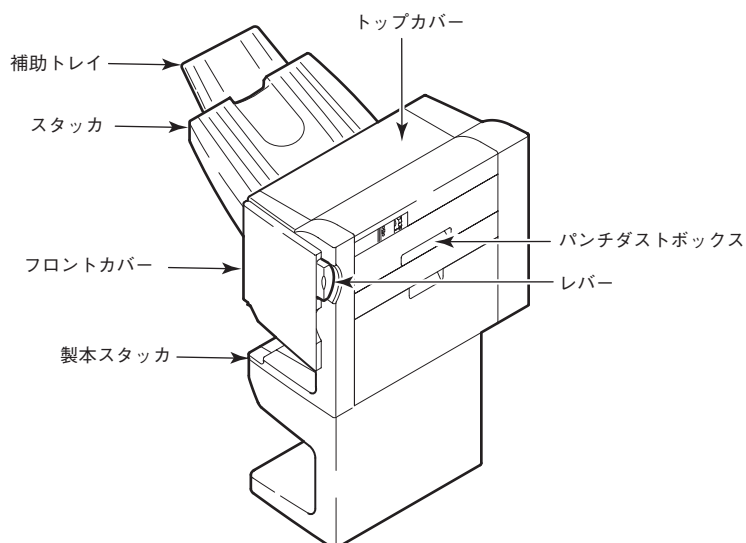
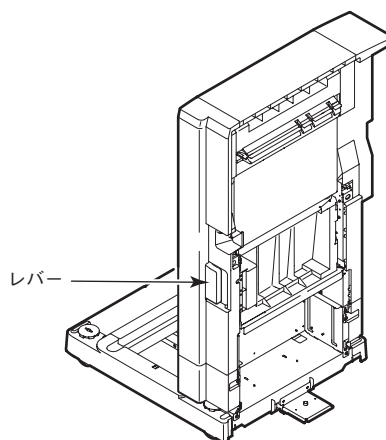
□ 金具×2

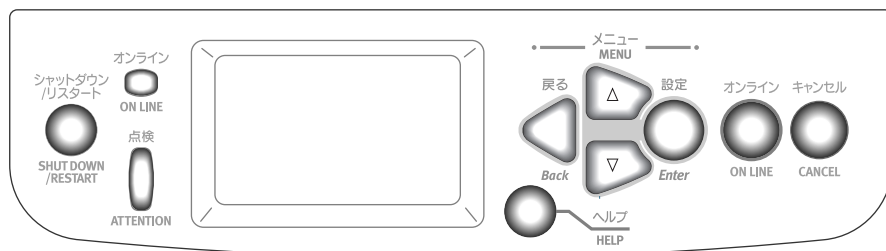
□ ねじ（大×4本, 小×6本）

□ 電源コード

□ プリンタ接続コード

各部の名称

A3、B4の用紙にプリントするときは、補助トレイを引き出してください。

フィニッシャーユニット

インバーターユニット

操作パネル

フィニッシャーに関するメッセージはプリンタの操作パネルに表示されます。
操作パネルの機能については、プリンタ本体のユーザーズマニュアル　プリンタ機能編「3　操作パネルについて」をご覧ください。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  周囲温度　：　10～32°C
  周囲湿度　：　30～80%RH（相対湿度）
  最大湿球温度：　25℃

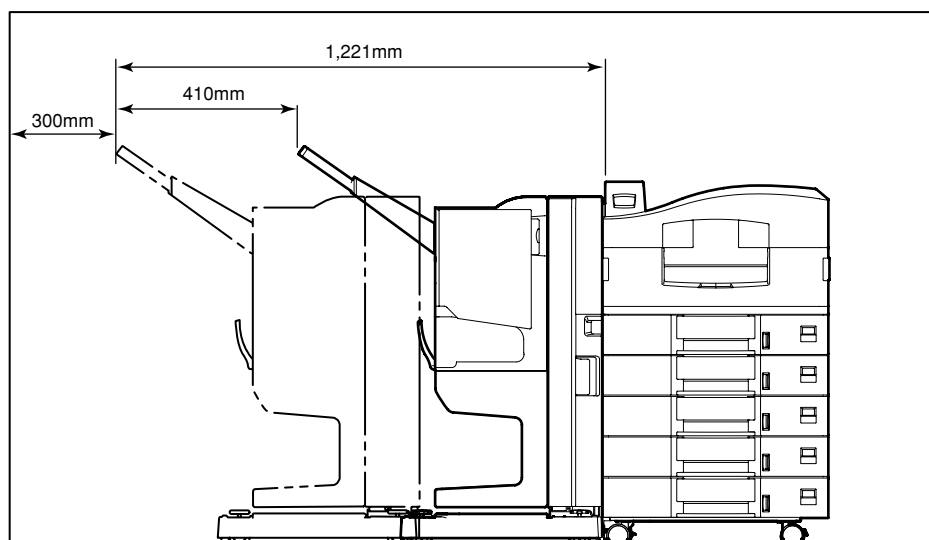
設置に関する注意

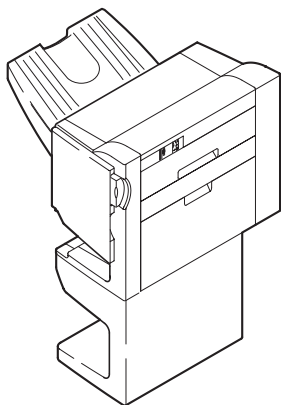
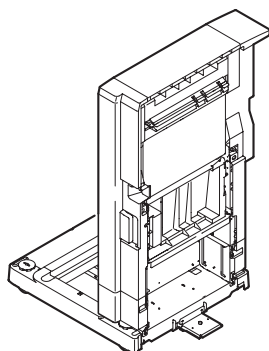
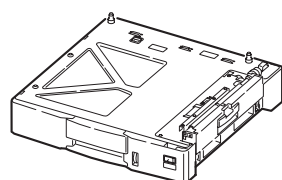
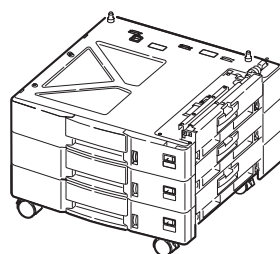
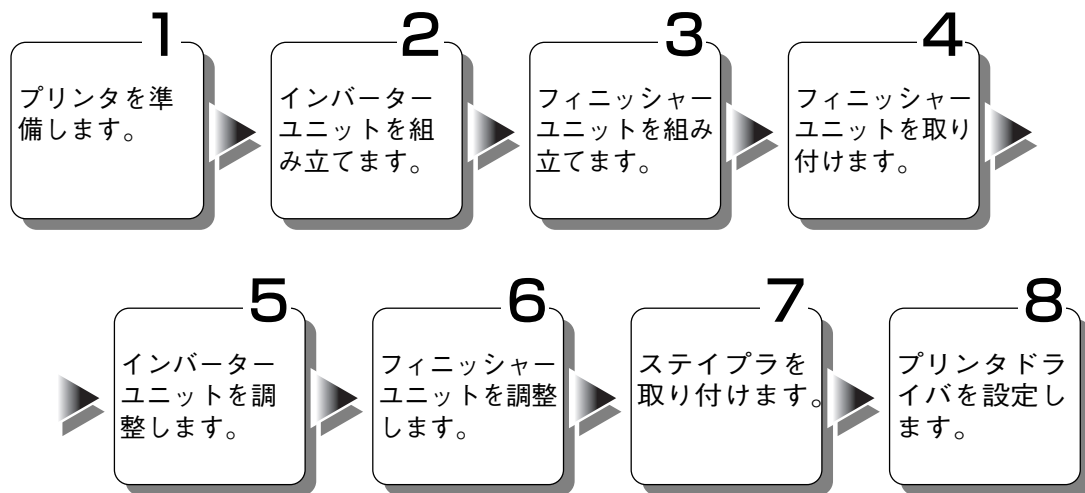
⚠警告

- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

⚠注意

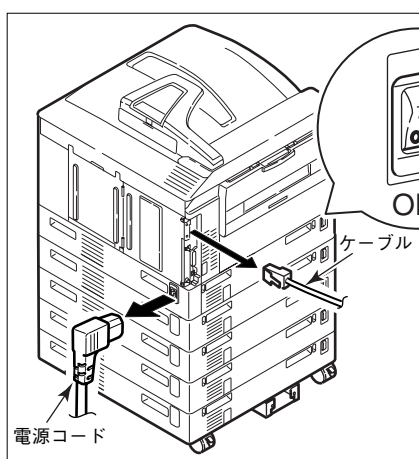
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- フィニッシャーを移動するときは、フィニッシャーの両側を持ってください。
- このフィニッシャーは重量が約60kgありますので、お取り扱いに注意してください。

設置スペース

フィニッシャーの取り付け

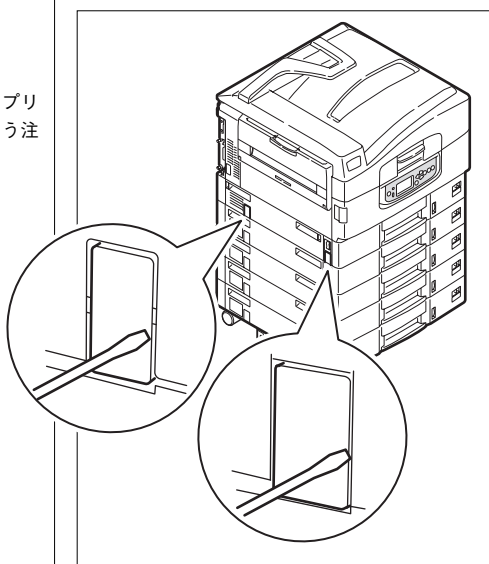
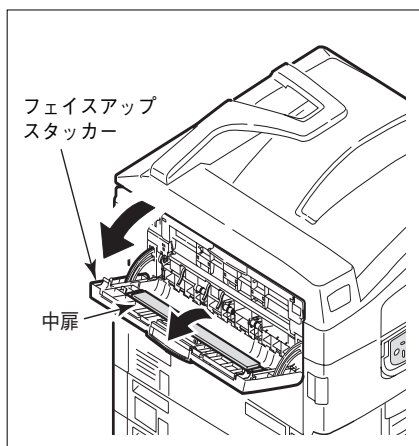
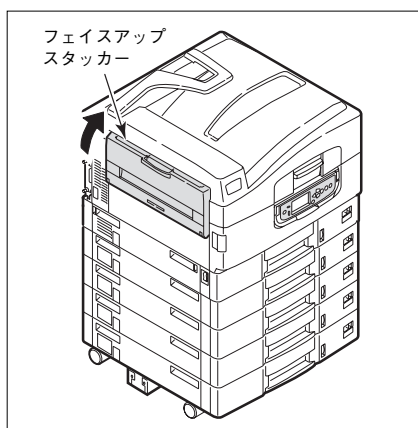
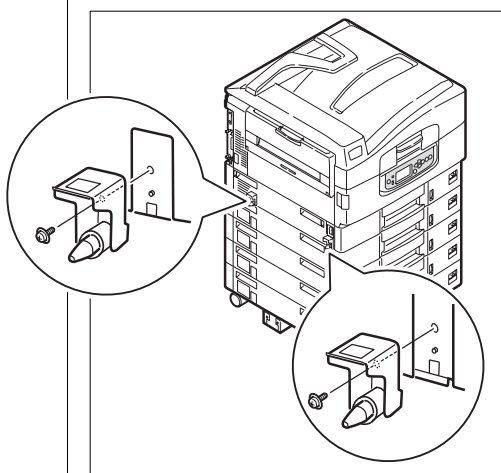
- フィニッシャーは、お客様ご自身では、設置作業はできません。設置作業は、沖データの指定業者が行います。
- お客様ご自身では、フィニッシャーをプリンタから完全に外すことはできません。フィニッシャーを外したい場合は、沖データの指定業者に連絡してください。
  お客様ご自身でフィニッシャーを設置または取り外された場合、フィニッシャーやプリンタが故障するおそれがあります。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- フィニッシャーを使用するためには、オプションのインバーターおよびセカンドトレイユニットと大容量トレイが必要です。

フィニッシャーの取り付けの流れ

注
組み立て等は必ず2人以上で行ってください。

1. プリンタを準備します

手順（1から5まであります。）

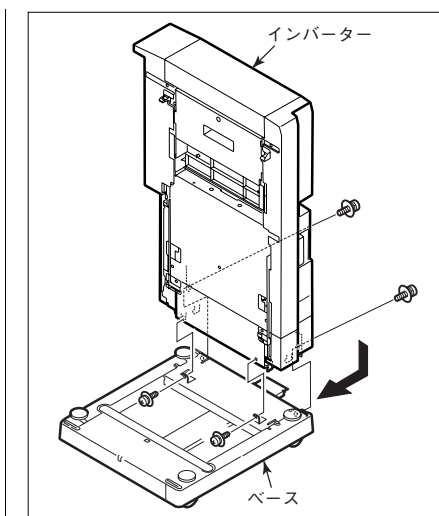
セカンドトレイユニットおよび大容量トレイユニットの取り付け方法は、プリンタ本体のマニュアルをご覧ください。

1 プリンタの電源をOFFにして、ケーブルやACコードを外します。

注.

パネルを折り欠く時、プリンタをキズ付けないよう注意してください。

2 プリンタサイドのパネル（2ヶ所）を折り欠きます。

3 フェイスアップスタッカーを開いて、中扉を矢印方向にロックします。

4 フェイスアップスタッカーを閉じます。

5 ネジ（小）で金具を取り付けます。（左右共）

プリンタの準備が完了です。

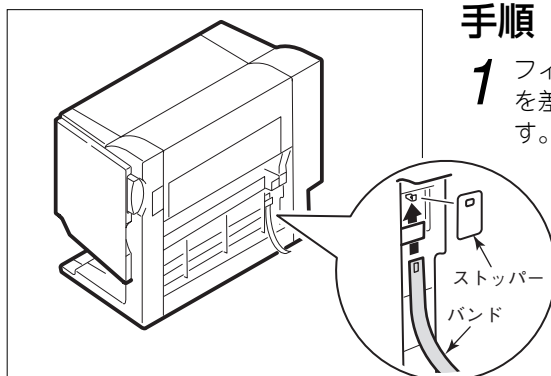
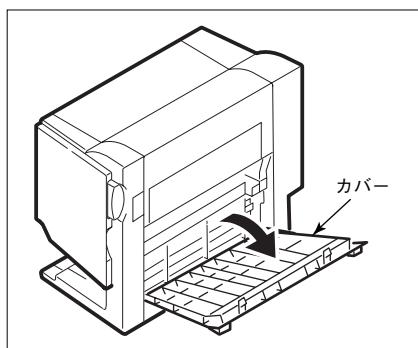
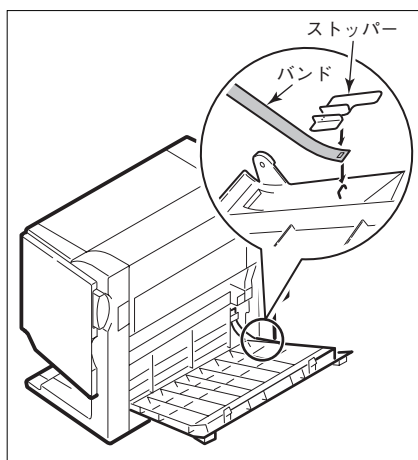
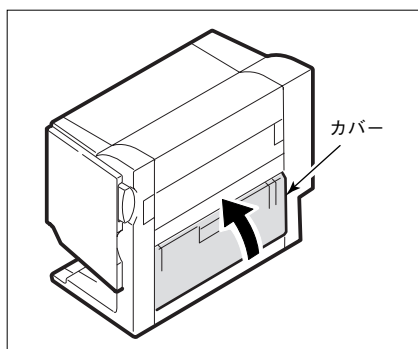
2. インバーターユニットを組み立てます

インバーターユニットは、ベースとインバーターから構成されています。

手順

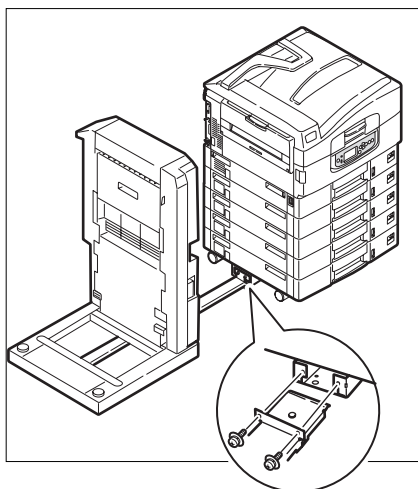
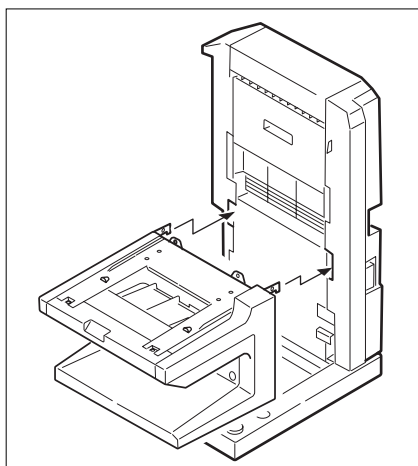
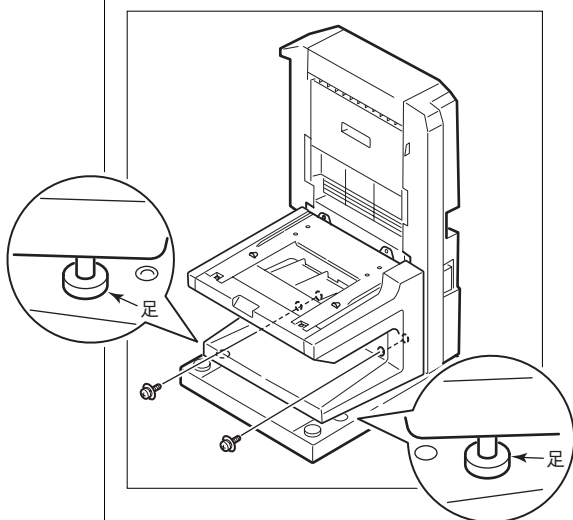
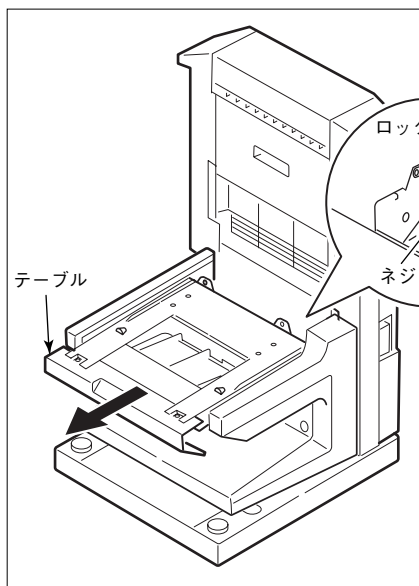
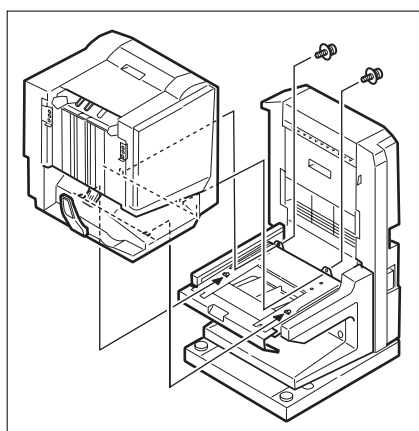
1 開梱した状態のままベースにインバーターを差し込み、4 本のネジ（小）で止め、組立てます。

3. フィニッシャーユニットを組み立てます

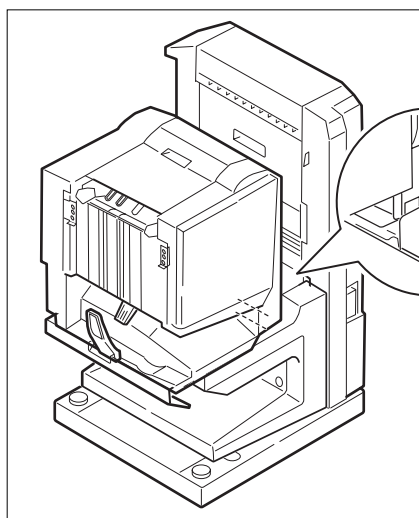
手順（1から4まであります。）

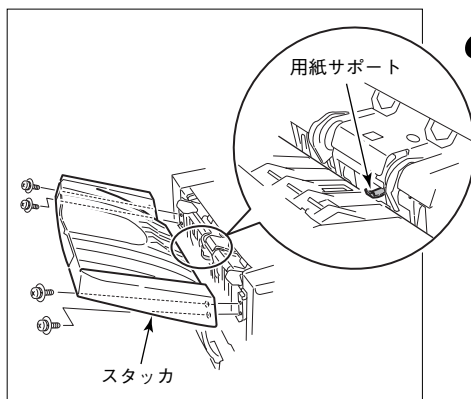
1 フィニシャーの裏面に透明なバンドを差し込み、ストッパーで固定します。

2 カバーを取り付けます。

3 透明なバンドをストッパーでカバーに取り付けます。

4 カバーを閉じます。

4. フィニッシャーユニットを取り付けます

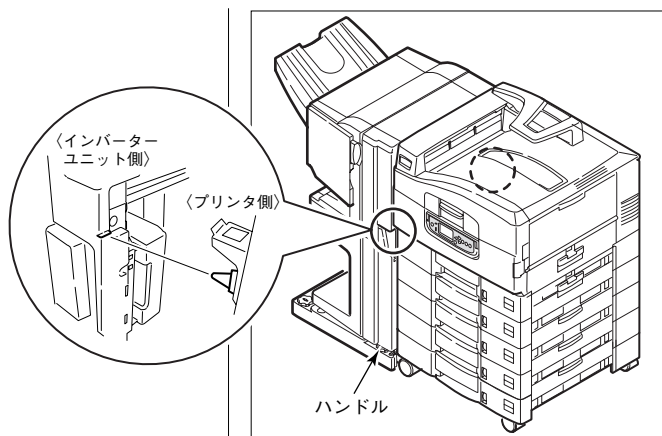
手順（1から8まであります。）

1 プリンタにインバーターユニットのガイドレールを2本のネジ（大）で取り付けます。

2 インバーターユニットにフィニッシャーの架台を引っ掛けます。

3 2本のネジ（大）でインバーターユニットとフィニシャーの架台を固定します。

4 架台の足（2ヶ所）を回しインバーターのベースに当たるまで伸します。

5 架台のテーブルを矢印方向にスライドしてから、ロックピースのネジを緩めロックピースを図のように下に回してテーブルをロックします。

6 フィニッシャーを架台の引っ掛け部に差込み、2本のネジ（大）で取り付けます。

注

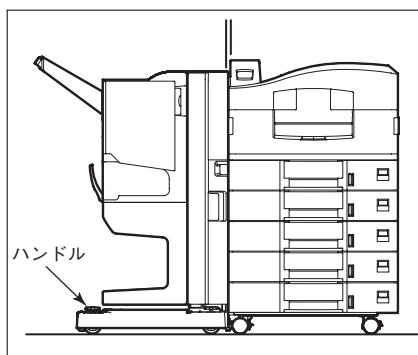
ロックピースが緩むと架台を動かしたとき、ロックしてしまうことがありますので注意してください。

7 架台のロックピースのネジを緩め、ロックピースを図のように元に戻し、ネジをしっかり閉めます。

用紙サポートがスタッカの上になるよう、取り付けるときに注意してください。

8 用紙サポータを４本のネジ（大）で取り付けます。

5. インバーターユニットの高さと傾きを調整します

手順（1から3まであります。）

1 インバーターユニットにあるハンドルを回して、高さを調整します。

センターが合うように調整します。

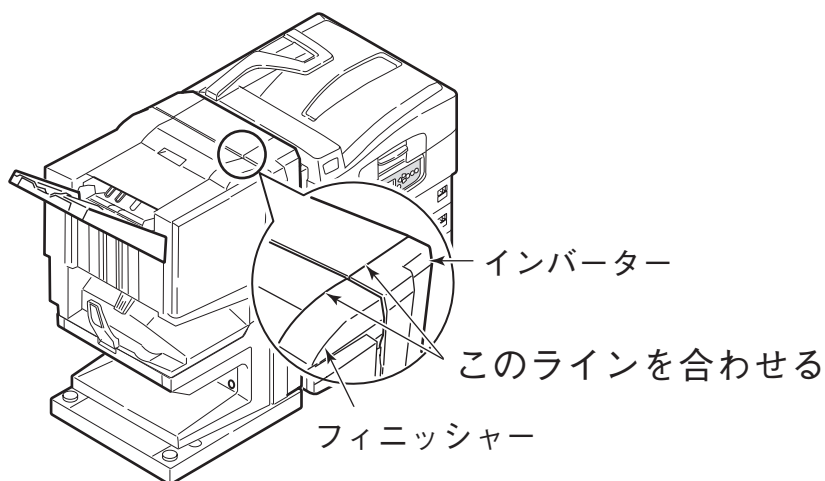
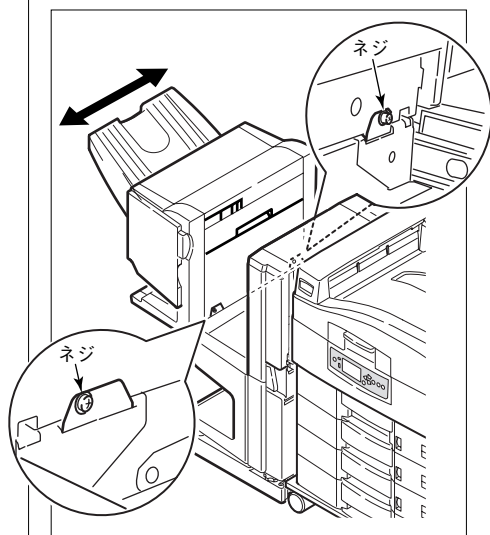
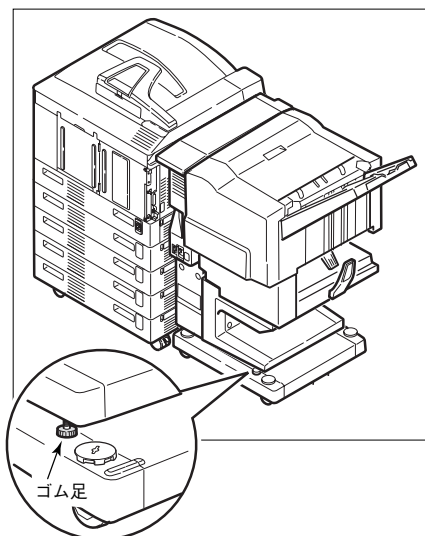
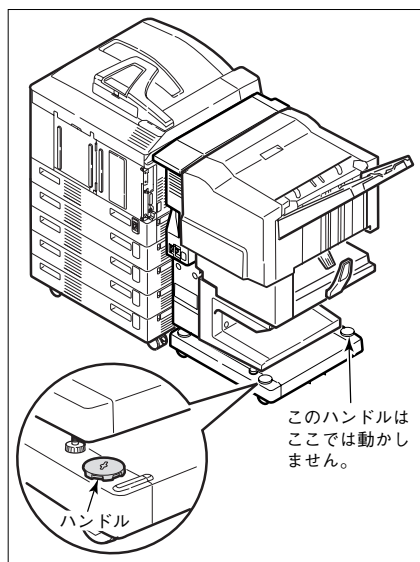
手前側、奥側の両方共合わせます。

2 プリンタとフィニッシャーが平行になるよう、ハンドルを回して調整します。

プリンタとインバーターユニットが平行になるよう、ハンドル（手前側・奥側）を回して調整します。

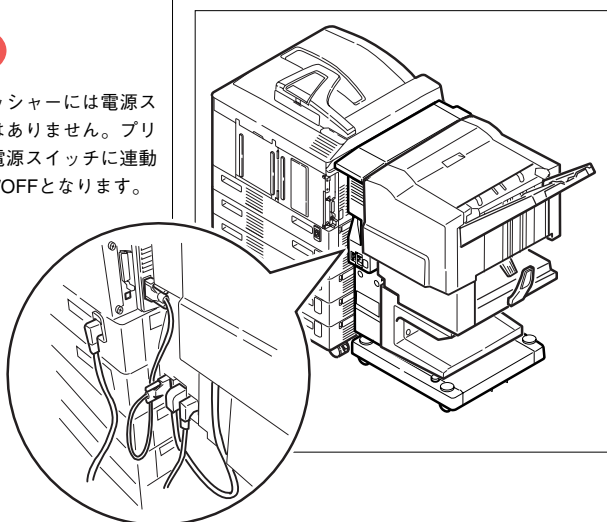
3 １で合わせた高さが合い、かつ、プリンタとインバータユニットが平行になるまで１と２の調整を繰り返します。

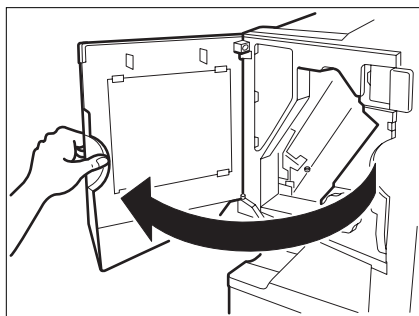
6. フィニッシャーユニットの取り付け位置を調整します

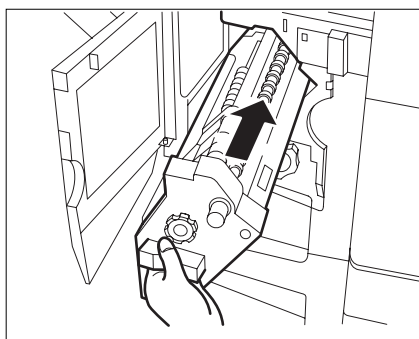
正しい位置に調整を行わないと、紙づまりの原因になります。

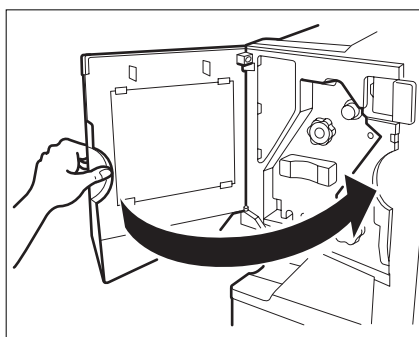
フィニッシャーをインバーターに対して、下図のように調整します。

手順（1から4まであります。）

1 フィニシャーと架台を止めているネジ（左右）をゆるめ、フィニッシャーを矢印方向に動かしてラインを合わせ、ネジを締めます。

2 1の方法で調整しきれない場合は、架台のゴム足（プリンタ背面側）を回して調整します。

3 2の方法を行っても調整が不十分の場合は、インバーターのハンドル（左図参照）を回して調整します。

注

フィニッシャーには電源スイッチはありません。プリンタの電源スイッチに連動してON/OFFとなります。

4 各ケーブルを接続します。

7. ステイプラの取り付け

手順（1から3まであります。）

1 フロントカバーを開きます。

2 ステイプルユニットを差し込みます。

ステイプルユニットは、固定されるまでしっかりと押し込んでください。

3 フロントカバーを閉じます。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

動作確認

メニューマップ印刷をして、フィニッシャーが正しく取り付けられたか確認します。

設定内容 MICROLINE 9600PS

プリンタシリアル番号: プリンタ管理番号:
CU version:00.96 [I01.09 U02.12 S3.0.4z B00.38d PPC750FX 733MHz 70000203 00020020 F50 J0]
PU version:2C.00.67 [PI03.02 L000.10.37 DU00.00.62 T200.00.5F T300.00.5F T400.00.5F T500.00.5F FI00.00.05]
PCL Program version:03.00 [04.18 X02.00 P F]
PS Program version:3015.103,PS61 トレイ1:A4 横送り
Total Memory Size:256 MB トレイ2:A4 横送り
Flash Memory:4 MB [F50] トレイ3:A4 横送り
HDD:uninstalled トレイ4:A4 横送り
両面印刷:installed トレイ5:A4 横送り
JP1 POE0 DPR:1.0 51
C:0 M:0 Y:0 K:0
PCI Slot 1: Network version:03.91 OkiWebRemote:W3.26
PCI Slot 2: No Option
DIMM Slot A:CU Program ROM
DIMM Slot B:Heisei font [PCL:04.02,PS:00.10
OutputDevice:Finisher

手順（❶から❼まであります。）

❶ トレイ1にA4用紙をセットします。

❷ 表示部に［印刷できます］と表示していることを確認します。

❸ ▽ボタンを数回押し、［プリンタ情報印刷］を反転表示させます。

❹ ○設定ボタンを押します。

❺ ▽ボタンを数回押し、［設定内容］を反転表示します。

❻ ○設定ボタンを押します。

「印刷実行」が表示され、○設定ボタンを押すと印刷が開始されます。

設定内容印刷が開始されます。

❼ ML9600PSでは「OutputDevice:Finisher」、MLPro9800PSでは「フィニッシャ:実装」と印刷されていることを確認します。
（図はML9600PSの例）

正しく印刷されない場合は、もう一度取り付け直してください。

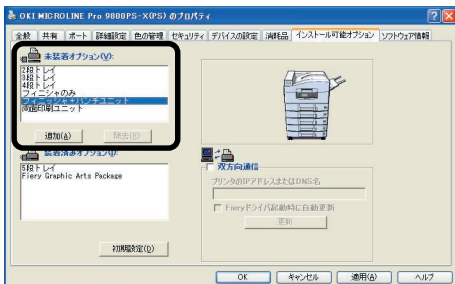
プリンタドライバの設定

プリンタとコンピュータをネットワーク接続している方

「プリンタ機能編 プリンタドライバにオプションの設定をする」をご覧ください。

プリンタとコンピュータをUSBまたはパラレル接続している方

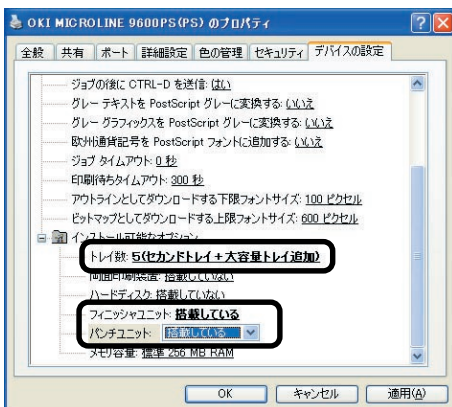
以下の手順で行います。

MLPro9800PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

（WindowsXPの画面）

1. ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP/Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］）をクリックします。
2. ［OKI MICROLINE ***(PS)（***はプリンタ名）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［インストール可能オプション］タブをクリックします。
4. ［未装着オプション］で［5段トレイ］を選択し、［追加］をクリックします。

   メモ　フィニッシャを追加するには5段のトレイが必要です。

5. ［未装着オプション］でフィニッシャのみを追加した場合は［フィニッシャのみ］を、フィニッシャとパンチユニットを追加した場合は［フィニッシャ＋パンチユニット］を選択し、［追加］をクリックします。
6. ［OK］をクリックします。

ML9600PS WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

1. ［スタート］-［プリンタとFAX］（Windows2000では［スタート］-［設定］-［プリンタ］）をクリックします。
2. ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。
3. ［デバイスの設定］タブをクリックします。
4. ［インストール可能なオプション］の［トレイ数］を［5（セカンドトレイ＋大容量トレイ追加）］に変更します。

   メモ　フィニッシャを追加するには5段のトレイが必要です。

5. ［インストール可能なオプション］で［フィニッシャユニット］を選択し、［搭載している］に変更します。パンチユニットを追加した場合は、［パンチユニット］を選択し、［搭載している］に変更します。
6. ［OK］をクリックします。

ML9600PS WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブ、または［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹ ［利用可能な装置］の［トレイ数］を［5］に変更します。

メモ　フィニッシャを追加するには5段のトレイが必要です。

❺ ［利用可能な装置］で［フィニッシャ］をチェックします。パンチユニットを追加した場合は、［パンチユニット］を［搭載している］に変更します。

❻ ［OK］をクリックします。

ML9600PS WindowsNT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 9600PS(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブをクリックします。

❹ ［インストールできるオプション］の［トレイ数］を［5（セカンドトレイ＋大容量トレイ追加）］に変更します。

メモ　フィニッシャを追加するには5段のトレイが必要です。

❺ ［インストールできるオプション］で［フィニッシャ］を選択し、［搭載している］に変更します。パンチユニットを追加した場合は、［パンチユニット］を選択し、［搭載している］に変更します。

❻ ［OK］をクリックします。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

（WindowsXPの画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP/Server 2003では［スタート］-［プリンタとFAX］）をクリックします。

❷ ［OKI MICROLINE ***(PCL)（*** はプリンタ名）］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブをクリックします。

❹ ［利用可能な装置］で［トレイ数］を［5］に変更します。

メモ　フィニッシャを追加するには5段のトレイが必要です。

❺ ［利用可能な装置］で［フィニッシャ］をチェックします。パンチユニットを追加した場合は、［パンチユニット］を［PNCC2A］に変更します。

❻ ［OK］をクリックします。

MLPro9800PS MacOS 9プリンタドライバをお使いの方

MacOSではプリンタドライバを追加する前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、プリンタドライバの追加後にオプションを追加した場合には、以下手順にてオプションを設定してください。

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、［プリンタ］メニューで［設定の変更］を選択します。

❷ ［自動設定］をクリックし、［OK］をクリックします。

メモ　［変更内容］メニューで追加したオプションを選択し、直下のメニューでその状態を選択することでオプションを手動で設定することができます。この場合変更内容で［使用可能トレイ］を選び直下のメニューで［5段トレイ］を選びます。続いて変更内容で［フィニシャオプション］を選び、直下のメニューで［フィニシャのみ］もしくは［フィニシャ+パンチユニット］を選びます。

❸ ［設定の変更］画面を閉じます。

MLPro9800PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

「USB」で接続した場合、プリンタドライバを追加する前にオプションが追加されている場合でも自動的にデバイス情報が取得されない場合があります。
また、プリンタドライバを追加後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.2では、［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷ プリンタを選択し、［情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

❸ ［インストール可能なオプション］パネルを選択します。

❹ 追加したオプションを設定し、［変更を適用］をクリックします。この場合、［使用可能トレイ］を［5段トレイ］に変更し、［フィニシャオプション］で［フィニッシャ］のみもしくは［フィニッシャ＋パンチユニット］を選び、［変更を適用］をクリックします。

❺ ［プリンタ情報］を閉じます。

ML9600PS MacOSプリンタドライバをお使いの方

MacOSではプリンタドライバを追加する前にオプションが追加されている場合には自動的にデバイス情報が取得されますが、プリンタドライバの追加後にオプションを追加した場合には、以下手順にてオプションを設定してください。

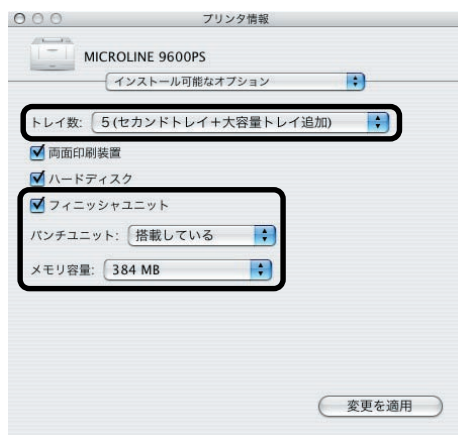
❶ デスクトップ上のプリンタアイコンを選択し、[プリンタ]メニューで［設定の変更］を選択します。

❷ ［自動設定］をクリックし、[OK］をクリックします。

メモ　[変更内容]メニューで追加したオプションを選択し、直下のメニューでその状態を選択することでオプションを手動で設定することができます。この場合、変更内容で[トレイ数]を、直下のメニューで[5（セカンドトレイ+大容量トレイ追加)]を選びます。続いて変更内容で[フィニシャユニット]を、直下のメニューで[搭載している]を選びます。パンチユニットも追加した場合には変更内容で[パンチユニット]を、直下のメニューで[搭載している]を選びます。

❸ ［設定の変更］画面を閉じます。

ML9600PS Mac OS X プリンタドライバをお使いの方

「USB」で接続した場合、プリンタドライバを追加する前にオプションが追加されている場合でも自動的にデバイス情報が取得されない場合があります。
また、プリンタドライバを追加後にオプションを追加した場合には自動的にデバイス情報が取得されません。
これらの場合、以下手順にてオプションを設定してください。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［PrintCenter］、Mac OS X 10.2 では、［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］）をダブルクリックします。

❷ プリンタを選択し、[情報を見る］をクリックし［プリンタ情報］を開きます。

❸ ［インストール可能なオプション］パネルを選択します。

❹ 追加したオプションを設定し、[変更を適用］をクリックします。
この場合［トレイ数］を［5（セカンドトレイ＋大容量トレイ追加)］に変更し、[フィニシャユニット］チェックボックスをチェックし、［変更を適用］をクリックします。
パンチユニットも追加した場合には［パンチユニット］を［搭載している］に変更し、[変更を適用］をクリックします。

❺ ［プリンタ情報］を閉じます。

2 フィニッシャーを使う

使用できる用紙

使用できる用紙の種類は、普通紙、はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPフィルムです。
機能により使用できる用紙に制限があります。

用紙			フィニッシャーの機能				
種類	サイズ	（mm）	スタック	ｼﾞｮﾌﾞｵﾌｾｯﾄ	ステイプル	中綴じｽﾃｲﾌﾟﾙ	パンチ *2
普通紙 再生紙	A6	105×148	○ *1	×	×	×	×
	A5	148.5×210	○ *1	×	×	×	×
	A4（縦送り）	210×297	○	○	○	○	○
	A4	297×210	○	○	○	×	○
	B4	257×364	○	○	○	○	○
	B5（縦送り）	182×257	○	○	×	×	○
	B5	257×182	○	○	○	×	○
	A3	297×420	○	○	○	○	○
	タブロイド	279.4×431.8	○	○	○	○	○
	タブロイドエクストラ	304.8×457.2	○ *1*3	×	×	×	×
	レター（縦送り）	215.9×279.4	○	○	○	○	○
	レター	279.4×215.9	○	○	○	×	○
	リーガル（13インチ）	215.9×330.2	○	○	○	×	○
	リーガル（13.5インチ）	215.9×342.9	○	○	○	×	○
	リーガル（14インチ）	215.9×355.6	○	○	○	×	○
	エグゼクティブ	184.2×266.7	○	○	○	×	○
	カスタム	幅：100～304.8 長さ：120～457.2 *3	○ *1	×	×	×	×
はがき	はがき	100×148	○ *1	×	×	×	×
	往復はがき	148×200	○ *1	×	×	×	×
封筒	長形2号	240×332	○ *1	×	×	×	×
	長形3号	216×277	○ *1	×	×	×	×
	C5	162×229	○ *1	×	×	×	×
OHP	レター	215.9×279.4	○ *1	×	×	×	×
	A4	210×297	○ *1	×	×	×	×

*1：この用紙の積載性は保証外です。排出された用紙は早めに取り除いてください。
*2：パンチするには、別売オプションのパンチユニットが必要です。
*3：フェイスダウンスタックで排出できるのは、431.8mmまでです。

フィニッシャーの機能

フィニッシャーは以下の機能を備えています。

スタック機能

スタッカトレイ上に印刷済み用紙を単純に積載する機能です。

ジョブオフセット機能

用紙束をジョブ単位でずらしてスタックトレイに積載する機能です。

ステイプル機能

用紙をステイプル（ホチキス止め）する機能です。

中とじステイプル機能（サドル）

用紙束を中央2ヶ所でステイプルして、中央から二つ折りし、簡易製本する機能です。

パンチ機能（オプション）

用紙にパンチ穴をあける機能です。

- 厚紙、ハガキ、往復ハガキ、4面ハガキ、封筒、OHPフィルム、ラベル用紙は、ステイプルはできません。
- トレイはプリント用紙束排出ごとに下降していき、ある位置に達したときにプリント動作は一時停止します。トレイにある全ての用紙を取り除くと残りのプリントが再開され、ステイプル動作を続行します。
- ステイプル処理中の用紙束は途中で取り除かずに完全にトレイに排紙されてから取り除いてください。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

フィニッシャを装着しているときは、トレイのステイプルされる場所に手を入れないでください。

スタックする

使用できる用紙の厚さ

フェイスアップスタック：連量56kg〜230.4kg (65g/m²〜268g/m²)
フェイスダウンスタック：連量56kg〜110kg (65g/m²〜128g/m²)

最大積載枚数

A.3、B4、タブロイド、リーガル：　500枚
A4、B5、レター、エグゼクティブ：　1000枚

750枚を越える場合は、積載性は保証されません。

ジョブオフセットする

使用できる用紙の厚さ

フェイスアップスタック：連量56kg～77.4kg（65g/m²～90g/m²）
フェイスダウンスタック：連量56kg～77.4kg（65g/m²～90g/m²）
はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシートは使用できません。

最大積載枚数

A.3、B4、タブロイド、リーガル：　500枚
A4、B5、レター、エグゼクティブ：　1000枚

750枚を越える場合は、積載性は保証されません。

ステイプル(ホチキス止め)する

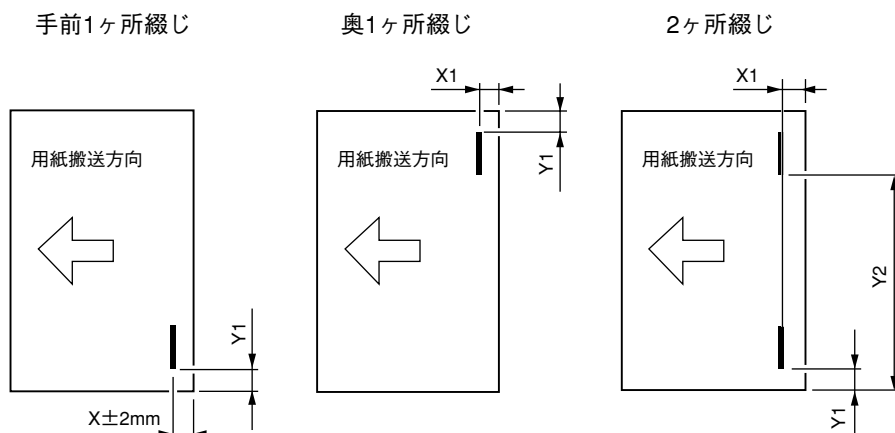
使用できる用紙の厚さ

連量56kg〜70kg (65g/m²〜80g/m²)
連量70kg〜110kg (80g/m²〜128g/m²)は表紙として2枚までステイプルできます。

はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシートは使用できません。

- ステープル可能枚数は以下のとおりです。
  - A4、B5、レター、エグゼクティブ：45枚(最大 紙厚110kg (128g/m²) 2枚 + 70kg (80g/m²) 43枚)
  - A3、B4、タブロイド、リーガル：22枚 (最大 紙厚110kg (128g/m²) 2枚 + 70kg (80g/m²) 20枚)
- 用紙枚数が上記枚数を越えるとステイプルは行われず、ソート機能のみの動作となります。
- 枚数制限を越えるホチキス止めの指定は用紙ジャムや紙づまりの原因となることがあります。

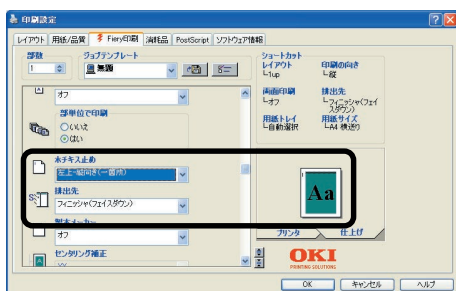
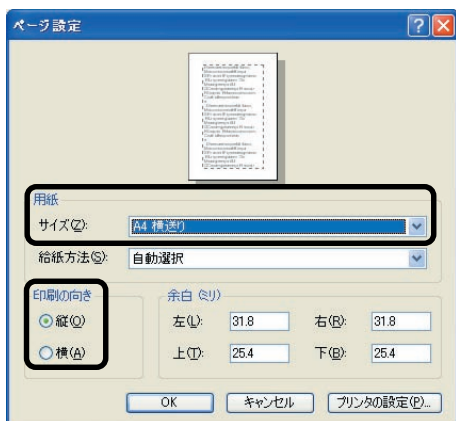
ステイプルの途中でフィニッシャが停止して、「ステイプラの針を補給してください。」と表示された場合は、針が残り少なくなり針カートリッジの交換が必要となっています。針カートリッジを交換してください。「針ケースの交換」(56ページ)をご覧ください。

ステイプルする綴じ位置は、3種類あります。

用紙サイズと綴じ位置

サイズ	方向	手前1ヶ所綴じ	奥1ヶ所綴じ	2ヶ所綴じ
A3	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	83mm
	Y2	-	-	203mm
A4	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	39.5mm
	Y2	-	-	159.5mm
A4（横送り）	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	83mm
	Y2	-	-	203mm
B4	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	5m	4.5mm	63mm
	Y2	-	-	183mm
B5（横送り）	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	63mm
	Y2	-	-	183mm
エグゼクティブ	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	26.6mm
	Y2	-	-	146.6mm
タブロイド	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	74.2mm
	Y2	-	-	194.2mm
リーガル	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	42.5mm
	Y2	-	-	162.5mm
レター	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	42.5mm
	Y2	-	-	162.5mm
レター（横送り）	X1	5mm	5mm	5mm
	Y1	4.5mm	4.5mm	74.2mm
	Y2	-	-	194.2mm

スタックトレイ積載量

A4、B5、レター、エグゼクティブ：　1000枚または30部の、どちらか少ない方
A3、B4、タブロイド、リーガル：　500枚または30部の、どちらか少ない方

MLPro9800PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

- 用紙サイズによっては、ステイプル（ホチキス止め）できません。
- A4 / レターについてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方（長辺とじ／短辺とじ）が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［Fiery印刷］タブの［仕上げ］オプションバーをクリックします。

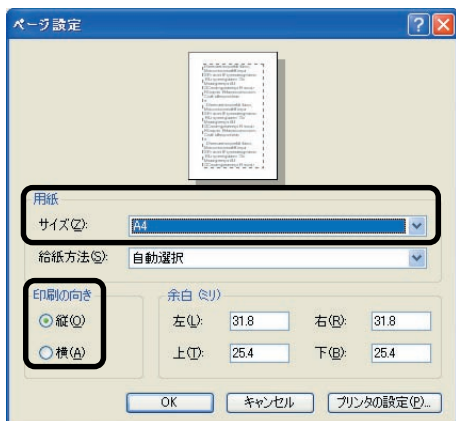
❼ ［排出先］（スクロールが必要）で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❽ ［ホチキス止め］でホチキスの綴じ位置を選択します。

- ［ホチキス止め］の項目は「位置　針の向き（ホチキスの止め方）」のように表現されています。
- 綴じ位置は［仕上げ］タブを選択すると、確認できます。

❾ ［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❿ 「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

ML9600PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

メモ 用紙サイズによっては、ステイプル(ホチキス止め)できません。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❻［印刷オプション］タブの［ホチキス止め］でホチキスの止め方（［一箇所］もしくは［二箇所］）を選択します。

❼ ホチキス止めの可能枚数に関する警告が表示されますので、［OK］をクリックします。

メモ ［次回もこのメッセージを表示する］のチェックを外すと、次回からこのメッセージを表示しません。

❽［綴じ位置］でホチキスの綴じ位置を選択します。

メモ 綴じ位置は書類の画像で確認できます。

❾［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］が選択されていることを確認します。

❿［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓫「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0では、［OK］）をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

> メモ
> ・用紙サイズによっては、ステイプル(ホチキス止め)できません。
> ・A4 / レターについてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方(長辺とじ／短辺とじ)が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻［印刷オプション］タブの［ホチキス］でホチキスの止め方（［一箇所］もしくは［二箇所］）を選択します。

❼ ホチキス止めの可能枚数に関する警告が表示されますので、［OK］をクリックします。

> メモ
> ［次回もこのメッセージを表示する］のチェックを外すと、次回からこのメッセージを表示しません。

❽［綴じ位置］でホチキスの綴じ位置を選択します。

> メモ
> 綴じ位置は書類の画像で確認できます。

❾［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］が選択されていることを確認します。

❿［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓫「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS MacOSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸［用紙］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

・用紙サイズによっては、ステイプル（ホチキス止め）できません。
・A4 / レター についてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方（長辺とじ／短辺とじ）が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺［仕上げ］パネルの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❻［ホチキス止め］でホチキスの綴じ位置を選択します。

メモ　［ホチキス止め］の項目は「位置　針の向き（ホチキスの止め方）」のように表現されています。位置は画面上で表示されている書類を基準とし、どの位置にホチキスを止めるかを選択します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

・用紙サイズによっては、ステイプル（ホチキス止め）できません。
・A4 / レターについてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方（長辺とじ／短辺とじ）が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❻［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❼［ホチキス止め］でホチキスの綴じ位置を選択します。

メモ　［ホチキス止め］の項目は「位置　針の向き（ホチキスの止め方）」のように表現されています。位置は画面上で表示されている書類を基準とし、どの位置にホチキスを止めるかを選択します。

❽［プリント］をクリックし、印刷します。

2

フィニッシャーを使う

ML9600PS MacOS 9プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［排出オプション］パネルの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❹ ［綴じ位置］でホチキス止めを行う位置を選択します。

メモ ［綴じ位置］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どの位置にホチキスを止めるかを選択します。

❺ ［ホチキス止め］でホチキスの止め方（［一箇所］もしくは［二箇所］）を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

ML9600PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❹ ［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❺ ［綴じ位置］でホチキス止めを行う位置を選択します。

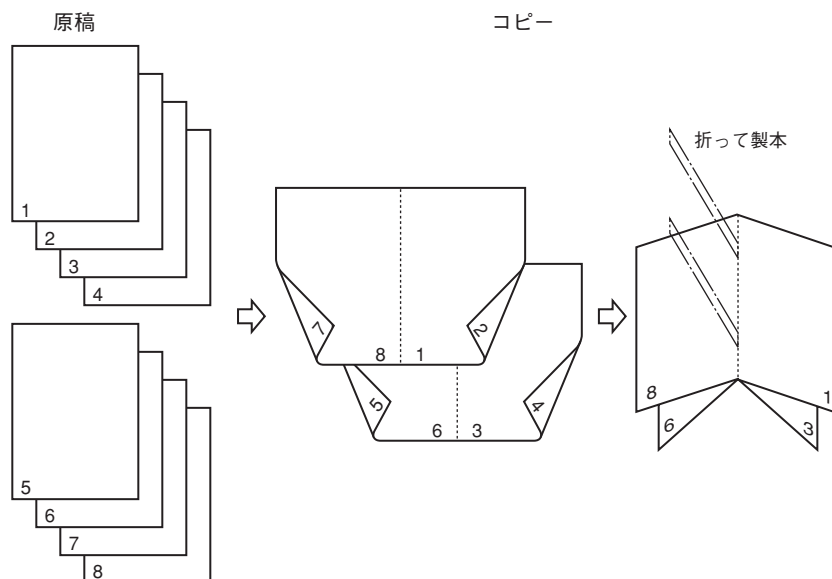
メモ ［綴じ位置］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どの位置にホチキスを止めるかを選択します。

❻ ［ホチキス止め］でホチキスの止め方（［一箇所］もしくは［二箇所］）を選択します。

❼ ［プリント］をクリックし、印刷します。

中綴じステイプル(サドル)する

プリントされた用紙を、中綴じステイプルして2つ折りする機能です。

- 中綴じ可能枚数は7枚(厚紙128g/m² 1枚+ 80g/m² 6枚)までです。
- 枚数制限を越えるホチキス止めの指定は用紙ジャムや針づまりの一因となることがあります。
- 中綴じステイプルできる用紙サイズは、A3、B4、A4、タブロイド、レターです。
- A3の用紙を使って中綴じステイプルする場合は、製本トレイの補助トレイを引き出してください。
- A4 /レター用紙の場合はプリンタに用紙を縦送りにセットする必要があります。
- 中綴じステイプルを設定した場合、紙の種類や枚数によって折り具合が変わることがあります。

使用できる用紙の厚さ

連量56kg～70kg (65g/m²～80g/m²)
連量70kg～110kg (80g/m²～128g/m²)は表紙として1枚までサドルできます。
はがき、封筒、ラベル紙、光沢紙、OHPシートは使用できません。

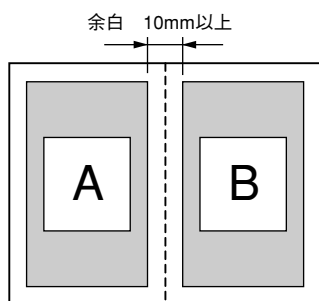
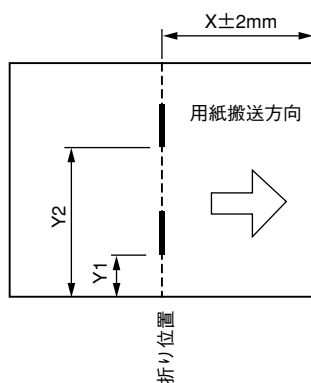
サドル枚数は以下の枚数までです。
　7枚まで(最大 紙厚110kg (128g/m²) 1枚 + 70kg (80g/m²) 6枚)
使用する用紙によりサドル可能枚数は変わります。

サドル積載部数

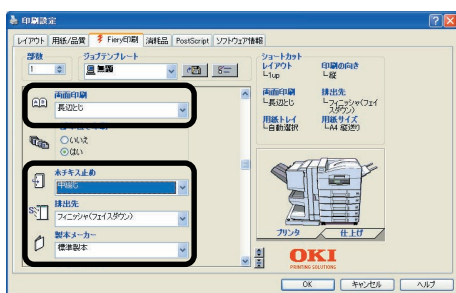
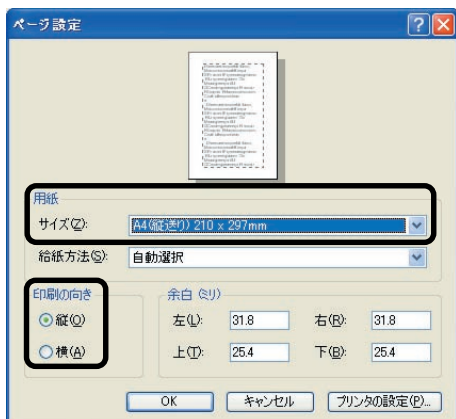
サドルされた用紙束は下側のスタックトレイに排出されます。
　5枚以下：20部
　6～7枚：10部

積載性は保証されません。

印刷範囲

センター余白として10mm以上を推奨します。

折り位置

（単位：mm）

用紙サイズ	X	Y1	Y2
A3	210	83	203
A4	148.5	39.5	159.5
B4	182	63	183
タブロイド	215.9	74.2	194.2
レター	139.7	42.5	162.5

MLPro9800PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

メモ
- 用紙サイズによっては中綴じできません。
- A4/レターについてはA4（縦送り）/ レター（縦送り）を選択します。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻［Fiery 印刷］タブの［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❼［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

❽［製本メーカー］で［標準製本］もしくは［右とじ］を選択します。

注 その他の製本タイプは中綴じできません。

メモ 製本印刷の詳細については「応用編—小冊子を作る（製本印刷）」をご覧ください。

❾［排出先］（スクロールが必要）で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❿［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。

⓫［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓬「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

ML9600PS WindowsXP/2000/Server2003 PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

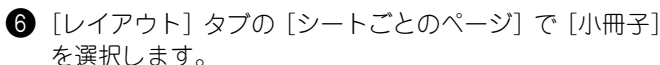
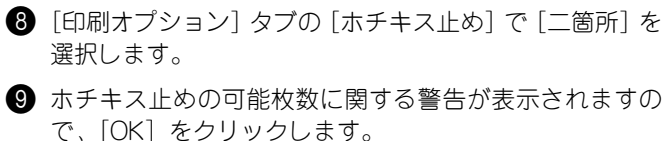
❸［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

メモ　用紙サイズによっては中綴じできません。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻［レイアウト］タブの［シートごとのページ］で［小冊子］を選択します。

メモ　製本印刷の詳細については「応用編―小冊子を作る（製本印刷）」をご覧ください。

❼［両面印刷］で［長辺を綴じる］が選択されていることを確認します。

❽［印刷オプション］タブの［ホチキス止め］で［二箇所］を選択します。

❾ ホチキス止めの可能枚数に関する警告が表示されますので、［OK］をクリックします。

メモ　［次回もこのメッセージを表示する］のチェックを外すと、次回からこのメッセージを表示しません。

❿［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［綴じ位置］で［中綴じ（製本時）］が選択されていることを確認します。

⓫［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓬「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

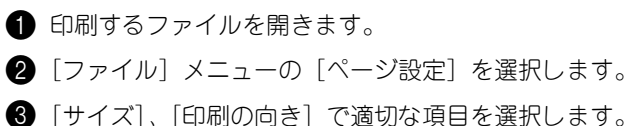
ML9600PS WindowsMe/98/95/NT4.0 PSプリンタドライバをお使いの方

利用できません。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

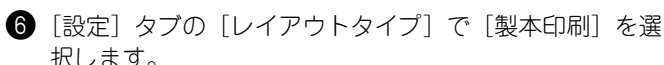
❶ 印刷するファイルを開きます。

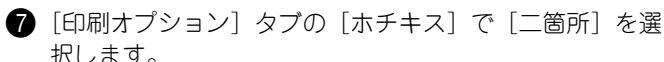
❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

メモ
- 用紙サイズによっては中綴じできません。
- MLPro9800PSではA4 / レターについては縦送りを選択します。

❹ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［設定］タブの［レイアウトタイプ］で［製本印刷］を選択します。

メモ 製本印刷の詳細については「応用編―小冊子を作る(製本印刷)」をご覧ください。

注 ［詳細設定］で［折丁］を［なし］以外に設定しないでください。

❼ ［印刷オプション］タブの［ホチキス］で［二箇所］を選択します。

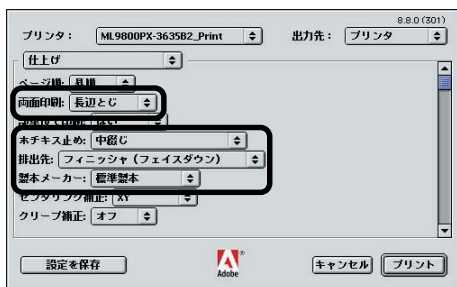
❽ ホチキス止めの可能枚数に関する警告が表示されますので、［OK］をクリックします。

メモ ［次回もこのメッセージを表示する］のチェックを外すと、次回からこのメッセージを表示しません。

❾ ［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］、［綴じ位置］で［中綴じ（製本時）］が選択されていることを確認します。

❿ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓫ 「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0では、［OK］）をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS MacOS 9プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［用紙］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

・用紙サイズによっては中綴じできません。
・A4 / レター は縦送りの向きにプリンタにセットし、［用紙］でA4（縦送り）/レター（縦送り）を選びます。

❹［仕上げ］パネルの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

❺［製本メーカー］で［標準製本］もしくは［右とじ］を選択します。

❻［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❼［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。

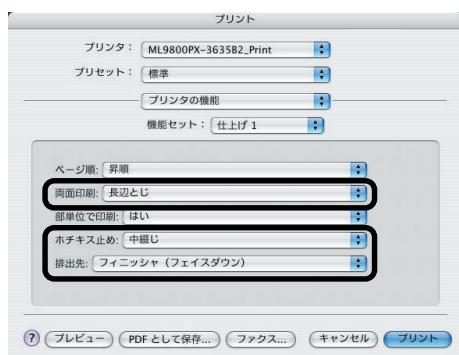
❽［プリント］をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

- 用紙サイズによっては中綴じできません。
- A4 / レターは縦送りの向きにプリンタにセットし、［用紙サイズ］でA4（縦送り）/レター（縦送り）を選びます。

❹［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［両面印刷］で［長辺とじ］を選択します。

❺［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

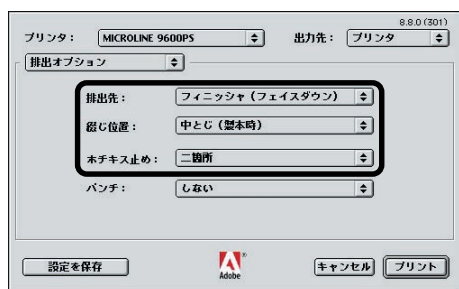
❻［ホチキス止め］で［中綴じ］を選択します。

❼［仕上げ 2］機能セットの［製本メーカー］で［標準製本］もしくは［右とじ］を選択します。

注 その他の製本タイプは中綴じできません。

メモ 製本印刷の詳細については［応用編―小冊子を作る（製本印刷）］をご覧ください。

❽［プリント］をクリックし、印刷します。

ML9600PS MacOSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ページ属性］パネルの［製本］にチェックを付け、配置のアイコンを選択します。

メモ 製本印刷の詳細については［応用編―小冊子を作る（製本印刷）］をご覧ください。

❸［排出オプション］パネルの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❹［綴じ位置］で［中綴じ（製本時）］を選択します。

❺［ホチキス止め］で［二箇所］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

ML9600PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

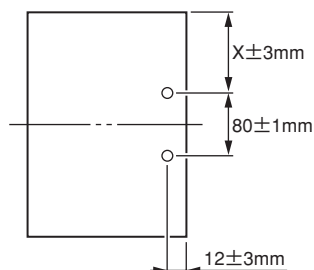
利用できません。

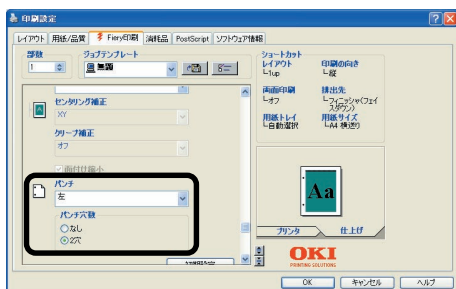
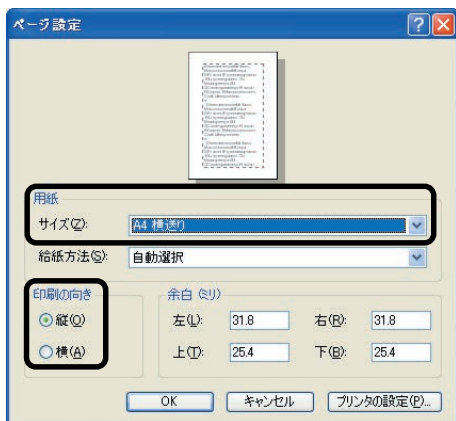
パンチする

オプションのパンチユニットを取り付けると、パンチ穴を開けることができます。

品　　名	型　名
パンチユニット	MLFPU-C3A

- パンチユニットは、お客様ご自身では、取り付け作業はできません。取り付け作業は、沖データの指定業者が行います。
- お客様ご自身では、パンチユニットをフィニッシャーから外すことはできません。パンチユニットを外したい場合は、沖データの指定業者に連絡してください。
  お客様ご自身でパンチユニットを取り付けまたは取り外された場合、フィニッシャーやプリンタが故障するおそれがあります。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。

パンチ穴径：6.5mm
パンチ穴位置

使用できる用紙の厚さ

連量56kg～110kg (65g/m^2～128g/m^2)

2
フィニッシャーを使う

MLPro9800PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

・用紙サイズによってはパンチできません。
・A4 / レター/ B5についてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方(長辺とじ／短辺とじ)が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［Fiery印刷］タブの［仕上げ］オプションバーをクリックします。

❼ ［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❽ ［パンチ穴数］で［2穴］を選択します。

❾ ［パンチ］で綴じ位置を選択します。

メモ 綴じ位置は[仕上げ]タブを選択すると、確認できます。

❿ ［OK］をクリックします。（Windows2000では、［OK］をクリックする必要はありません。）

⓫ 「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

ML9600PS Windows PSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

メモ 用紙サイズによってはパンチできません。

❹［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻［印刷オプション］タブの［パンチ］で［する］を選択します。

❼［綴じ位置］を選択します。

メモ 綴じ位置は書類の画像で確認できます。

❽［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］が選択されていることを確認します。

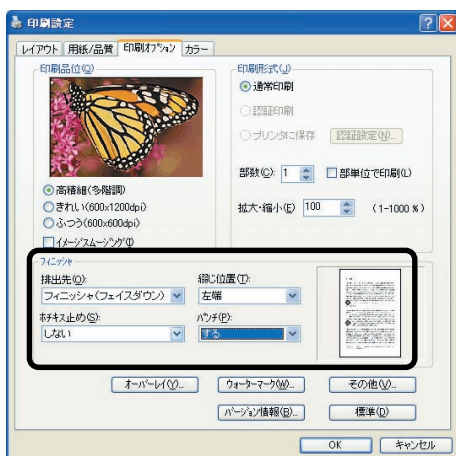
❾［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❿「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

Windows PCLプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［サイズ］、［印刷の向き］で適切な項目を選択します。

- 用紙サイズによってはパンチできません。
- MLPro9800PSではA4 / レター/ B5についてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方(長辺とじ／短辺とじ)が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❺ ［プロパティ］（WindowsXP/Server2003 では［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❻ ［印刷オプション］タブの［パンチ］で［する］を選択します。

❼ ［綴じ位置］を選択します。

綴じ位置は書類の画像で確認できます。

❽ ［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］が選択されていることを確認します。

❾ ［OK］をクリックします。（Windows2000 では、［OK］をクリックする必要はありません。）

❿「印刷」画面で［印刷］（WindowsMe/98/NT4.0 では、［OK］）をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS MacOS 9プリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❸ ［用紙］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

・用紙サイズによってはパンチできません。
・A4 / レター / B5についてはプリンタに用紙をセットする向きを横送りとするか縦送りにするかによって綴じ方(長辺とじ／短辺とじ)が決まり、綴じ位置が限定されます。その他の用紙は短辺とじのみとなります。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［仕上げ］パネルの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

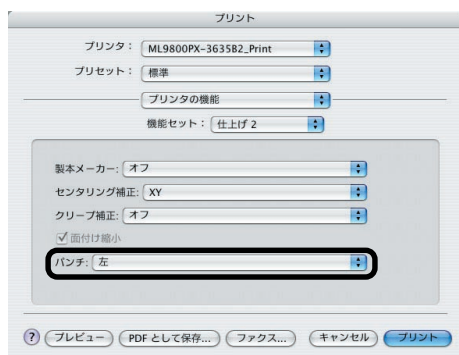
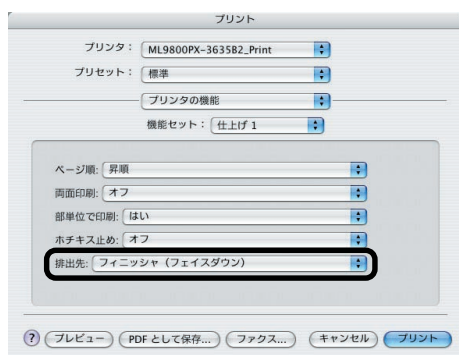
❻ ［パンチ穴数］（スクロールが必要）で［2穴］を選択します。

❼ ［パンチ］で綴じ位置を選択します。

メモ

［パンチ］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どちら側を綴じるかを選択します。

❽ ［プリント］をクリックし、印刷します。

MLPro9800PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❸ ［対象プリンタ］でプリンタの機種名を選択し、［用紙サイズ］、［方向］で適切な項目を選択し、［OK］をクリックします。

メモ
・用紙サイズによってはパンチできません。
・A4 / レター / B5については横送り（用紙名のみの項目）を選ぶか縦送りを選ぶかによって綴じ位置が限定されます。

❹ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❺ ［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❻ ［プリンタの機能］パネルの［仕上げ 1］機能セットの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❼ ［仕上げ3］機能セットの［パンチ穴数］で［2穴］を指定します。

❽ ［仕上げ2］機能セットの［パンチ］で綴じ位置を選択します。

メモ
［パンチ］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どちら側を綴じるかを選択します。

❾ ［プリント］をクリックし、印刷します。

ML9600PS MacOSプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

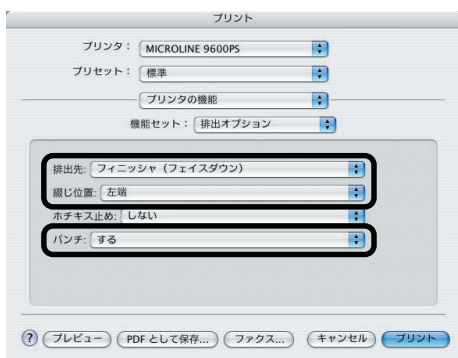
❸［排出オプション］パネルの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❹［綴じ位置］を選択します。

メモ ［綴じ位置］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どちら側を綴じるかを選択します。

❺［パンチ］で［する］を選択します。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

ML9600PS Mac OS Xプリンタドライバをお使いの方

❶ 印刷するファイルを開きます。

❷［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❸［プリンタ］でプリンタの機種名が選択されていることを確認します。

❹［プリンタの機能］パネルの［排出オプション］機能セットの［排出先］で［フィニッシャ（フェイスダウン）］を選択します。

❺［綴じ位置］を選択します。

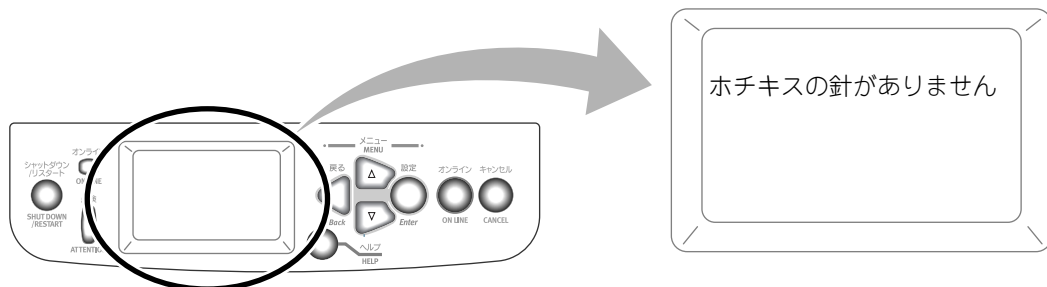
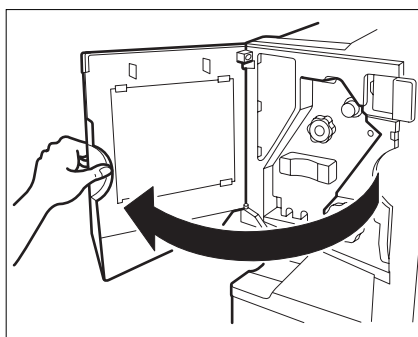
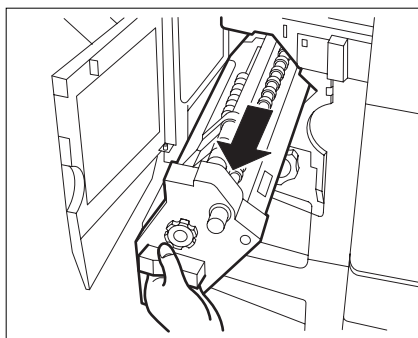
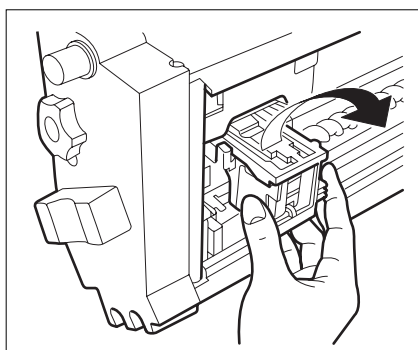
メモ ［綴じ位置］の項目は画面上で表示されている書類を基準とし、どちら側を綴じるかを選択します。

❻［パンチ］で［する］を指定します。

❼［プリント］をクリックし、印刷します。

3 メンテナンス

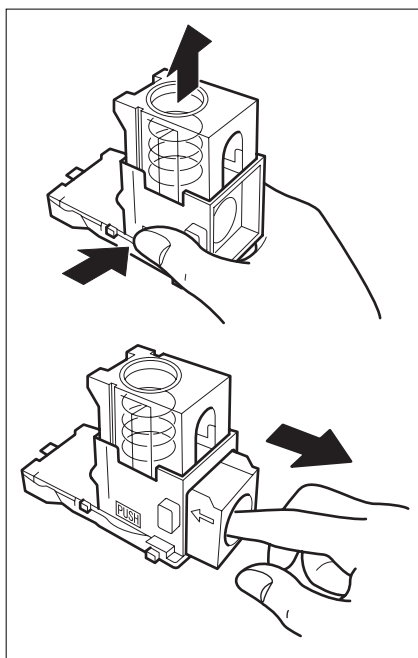
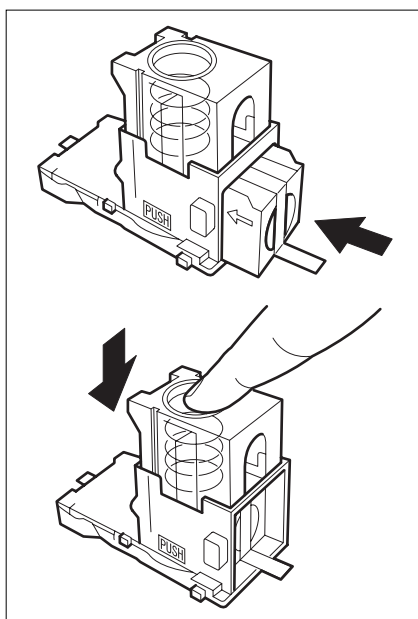
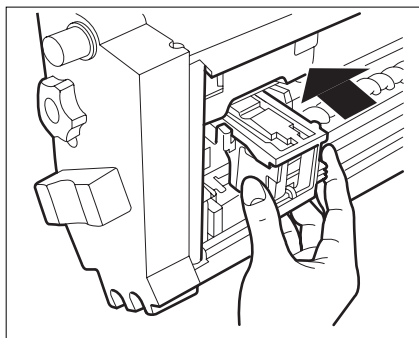
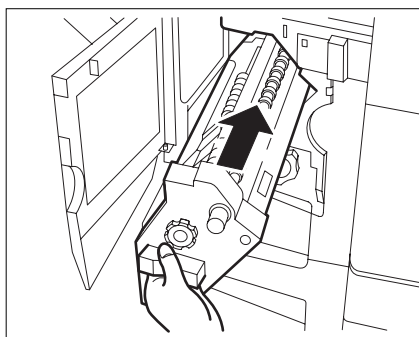
針ケースの交換

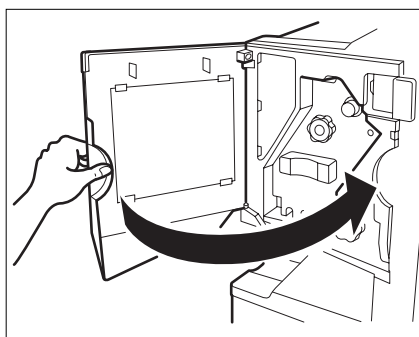
ステイプルユニットの針カートリッジの針が残り少なくなると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針カートリッジの針ケースを交換してください。

手順（1から9まであります。）

1 フロントカバーを開きます。

2 ステイプルユニットを引き出します。

3 針カートリッジの左右をつまんで引き上げから引き出します。

4 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジの向きを下図のようにしてから、針ケースを取り外してください。

針ケースは必ず本機専用のものを使用してください。

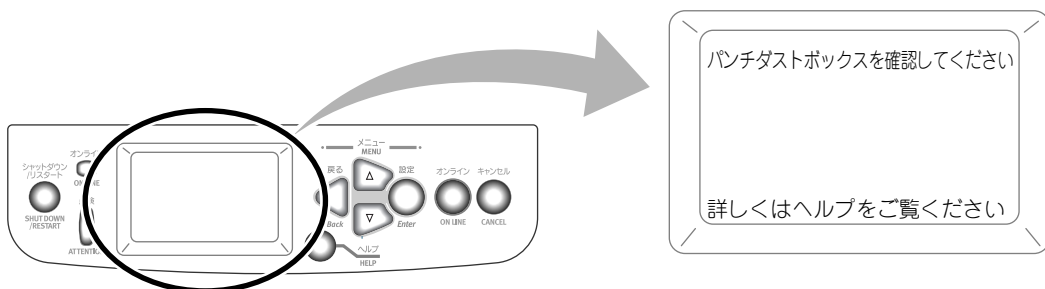
一度にセットできる針ケースは1個までです。

5 新しい針ケースをセットします。

6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

7 針カートリッジをしっかり押し込みます。

8 針カートリッジが、固定されたことを確認してから、ステイプルユニットを戻します。

ステイプルユニットは、固定されるまでしっかりと押し込んでください。

9 フロントカバーを閉じます。

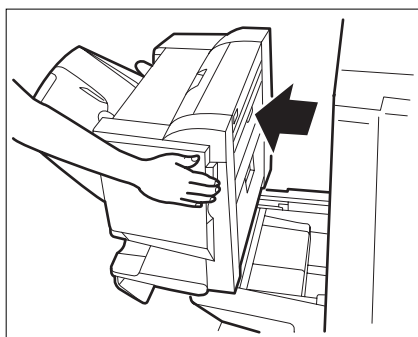
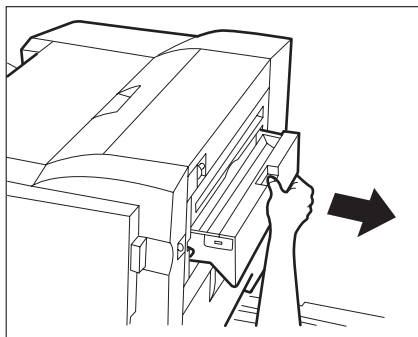
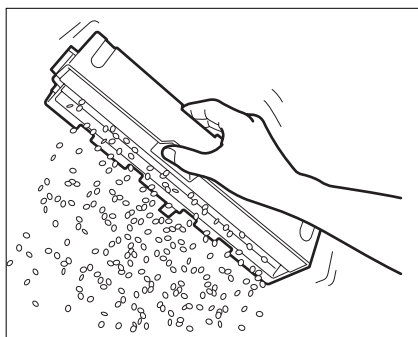
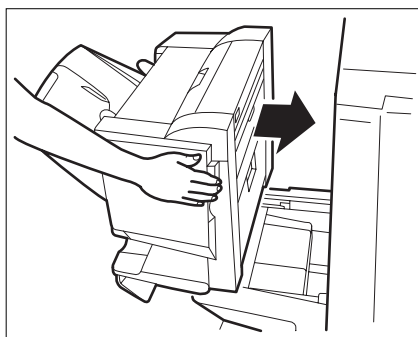
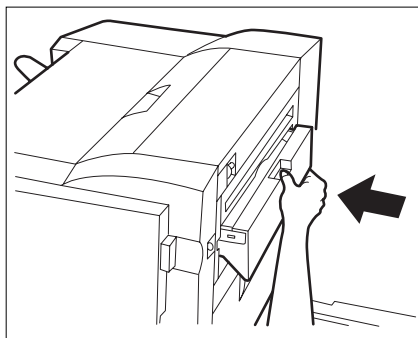
⚠注意 けがをするおそれがあります。

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

パンチ屑の処理

パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

メモ　この処理はオプションのパンチユニット装着時のみ行います。

手順（1から5まであります。）

1 フィニッシャーを本体から引き離します。

2 パンチ屑入れを引き出します。

3 パンチ屑を捨てます。

パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定をしてプリントすることができません。

4 パンチ屑入れを戻します。

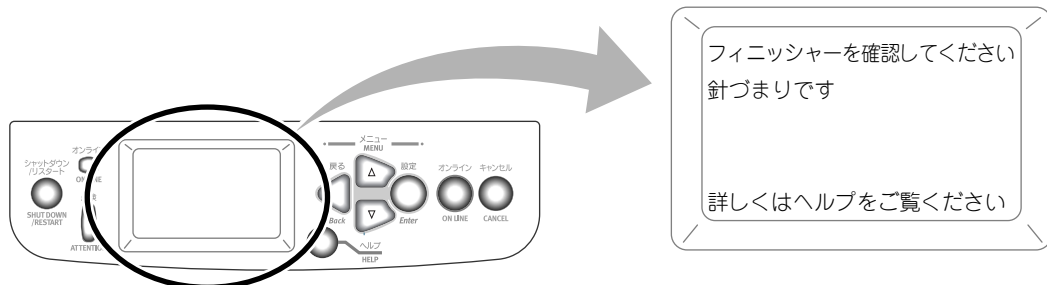
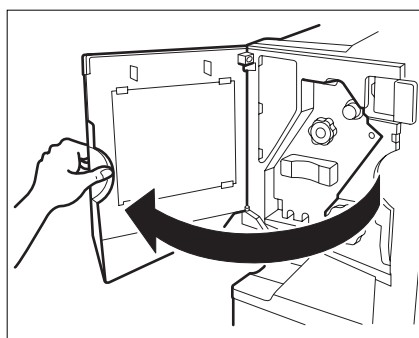
5 フィニッシャーを本体に接続します。

⚠注意	けがをするおそれがあります。

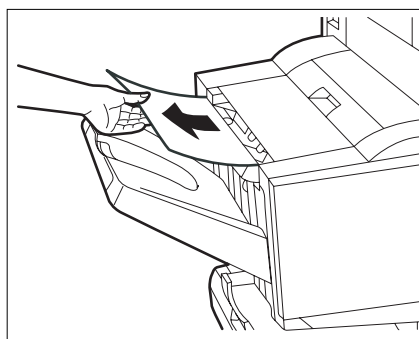
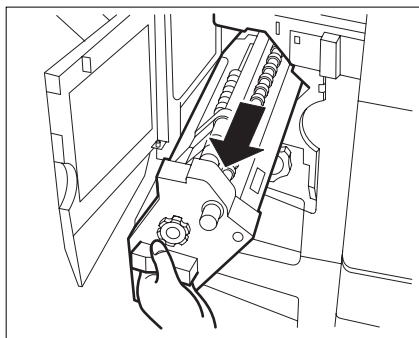
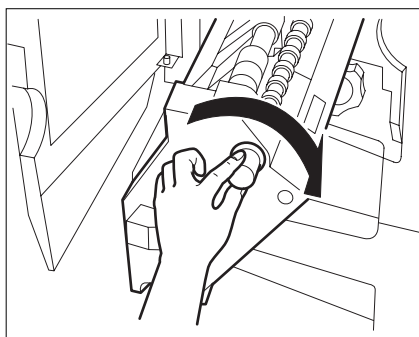
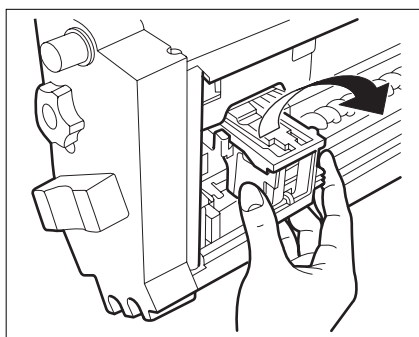
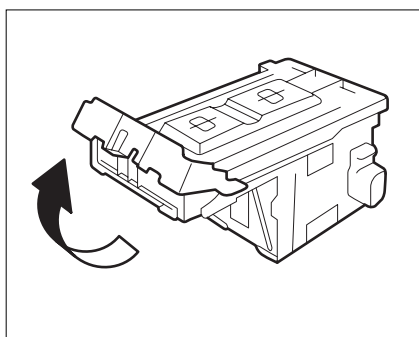
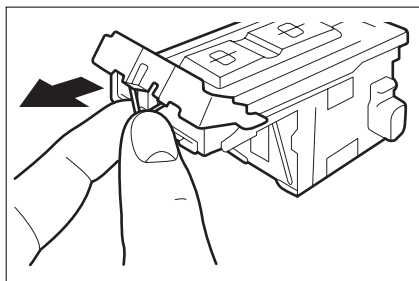
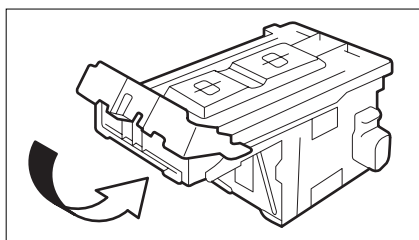
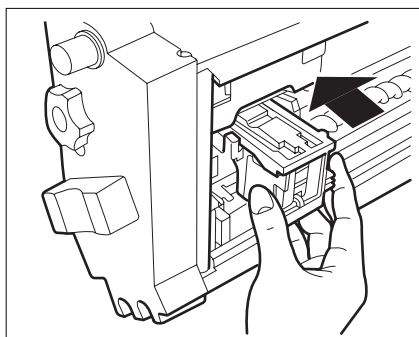
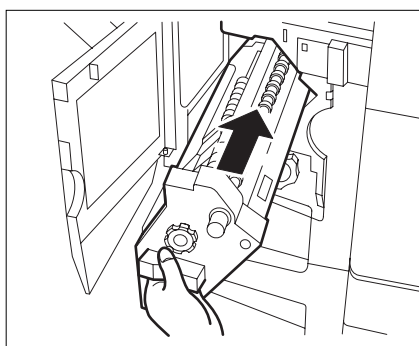
フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 困ったときには

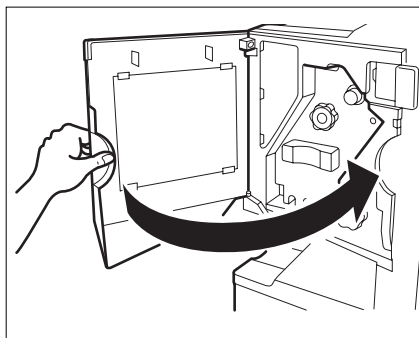
ステイプルユニットの針づまりの処理

ステイプルユニットで針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、つまっている針をすべて取り除いてください。

手順（1から12まであります。）

1 フロントカバーを開きます。

2 青い表示が出るまで、ツマミを右に回します。

3 排紙部にあるステイプル待ちの用紙を取り除きます。

4 ステイプルユニットを引き出します。

5 ツマミを右に回し、ステイプラを手前に移動させます。

6 針カートリッジの左右をつまんで引き上げてから引き出します。

7 針カートリッジのツマミを上げます。

8 針ケースからスライドされている針をすべて取り除きます。

9 針カートリッジのツマミを戻します。

10 針カートリッジをしっかり押し込みます。

11 針カートリッジが固定されたことを確認してから、ステイプルユニットを戻します。

ステイプルユニットは固定されるまでしっかりと押し込んでください。

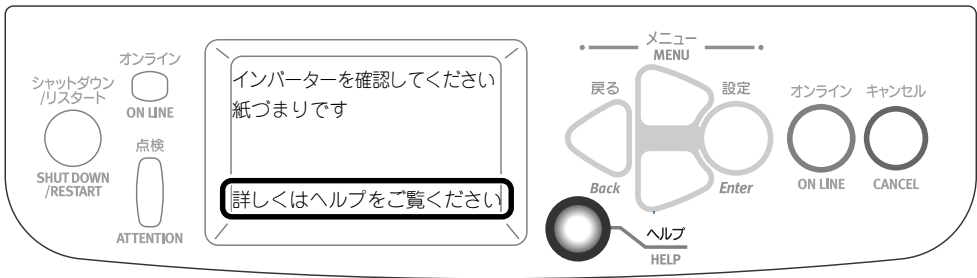
カバーを閉じると、ステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

12 フロントカバーを閉じます。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

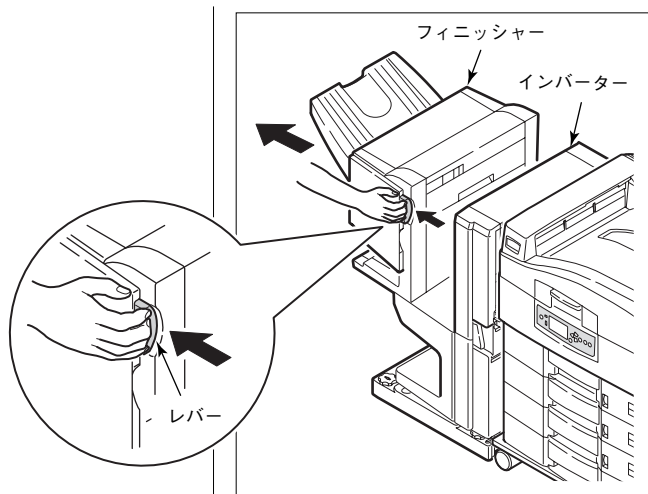
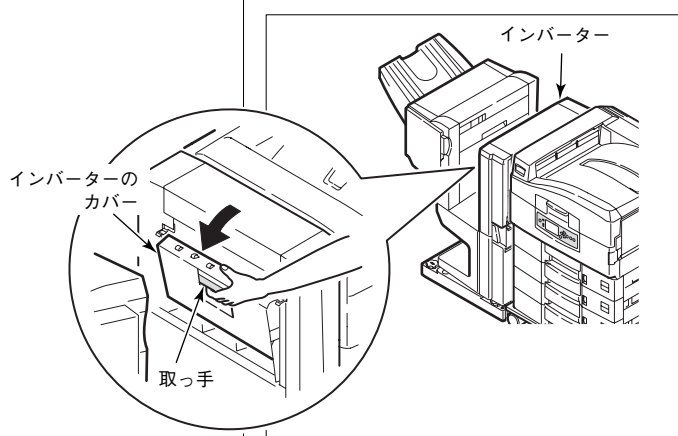
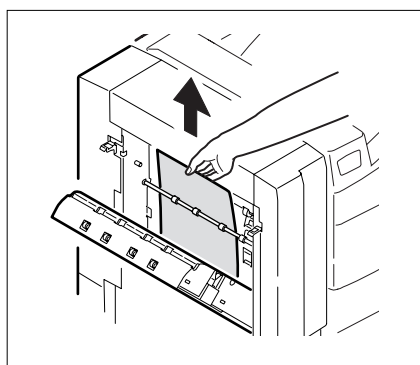
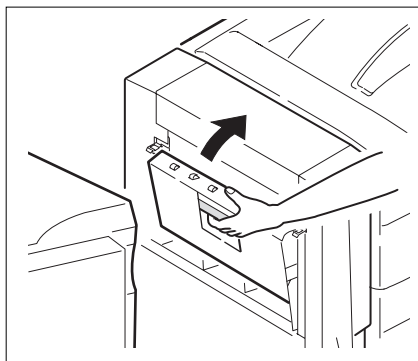
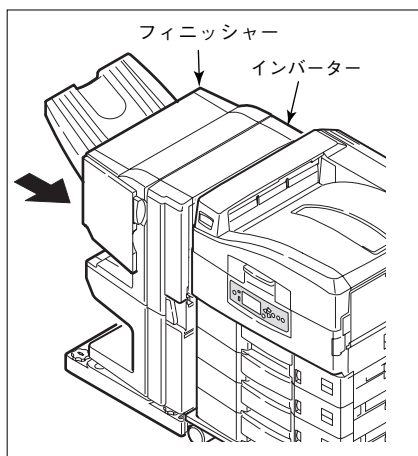
紙づまり

紙づまりが発生すると、操作パネルに次のように表示します。HELPボタンを押すと、紙づまりの解除手順を表示します。手順に従って、つまった用紙を取り除いてください。
参照ページにも、紙づまりの解除手順が載っています。

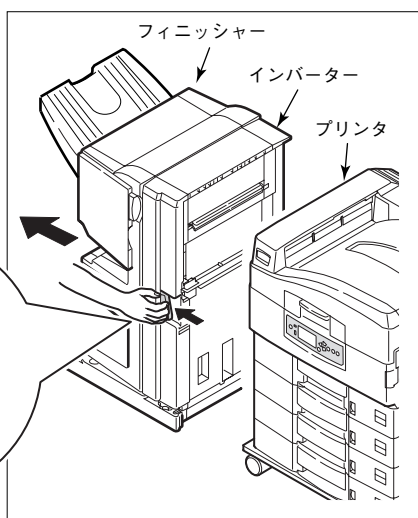
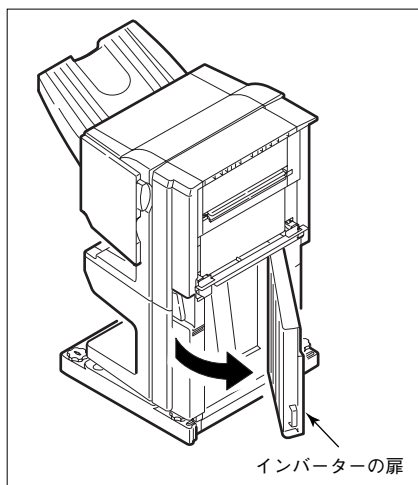
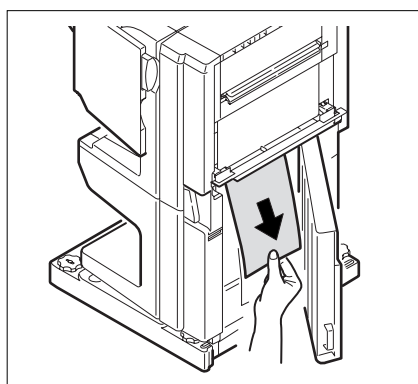
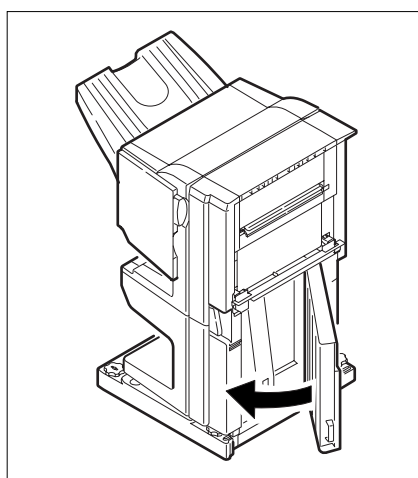
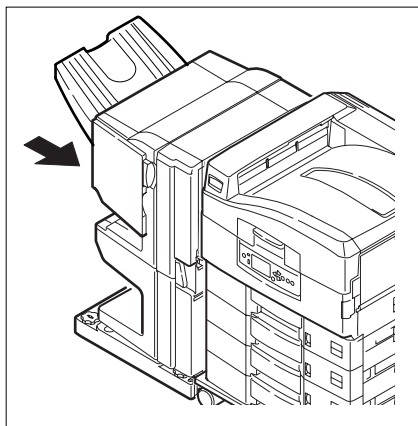
注 紙づまりの解除については、プリンタのユーザーズマニュアル「プリンタ機能編」もあわせてご覧ください。

表示されているメッセージ	参照ページ
インバーターを確認してください 紙づまりです	67ページ
フィニッシャーを確認してください 紙づまりです	71ページ
フィニッシャーの内部で紙づまりが発生しています	73ページ
フィニッシャーで紙づまりが発生しました	76ページ

「インバーターを確認してください／紙づまりです」と表示している時

手順（1から10まであります。）

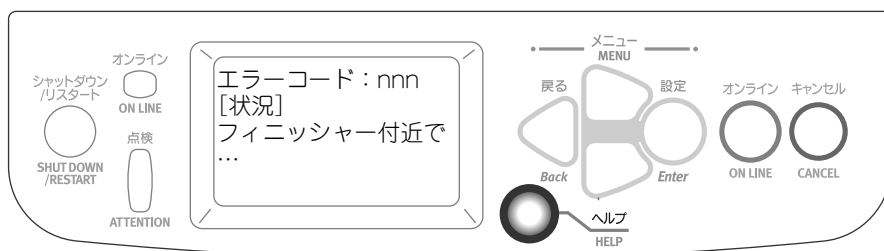
1 フィニッシャーのレバーを押しながら、フィニッシャーをインバーターから引き離します。

2 インバーターの左カバーの取っ手を持ち、左カバーを開きます。

3 つまっている用紙があるときは、そっと取り除きます。

4 インバーターの左カバーを閉じます。

5 フィニッシャーを元の位置に戻し、インバーターに接続します。

⚠注意	けがをするおそれがあります。

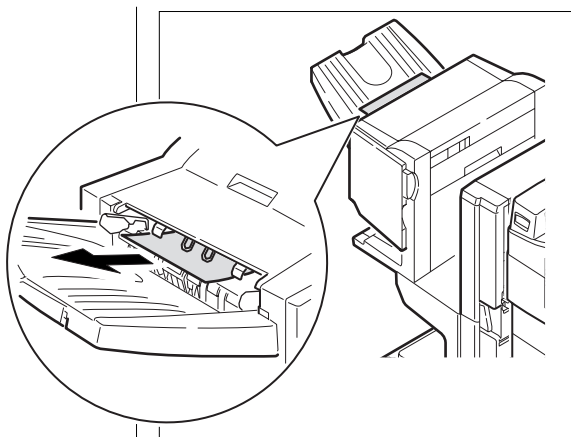
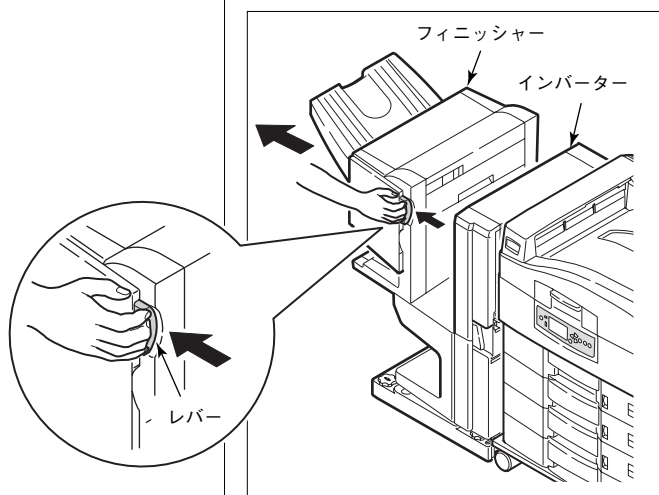
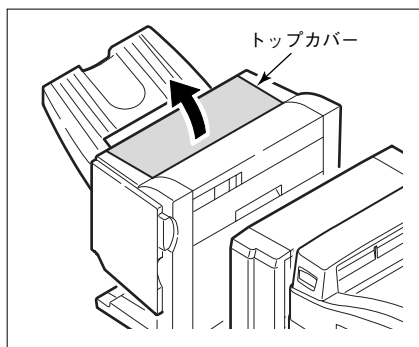
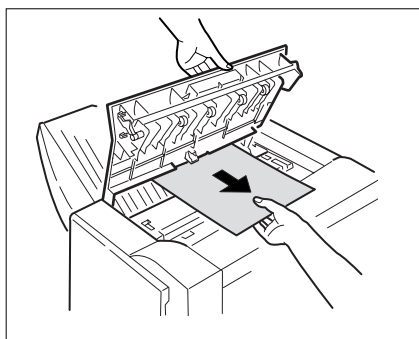
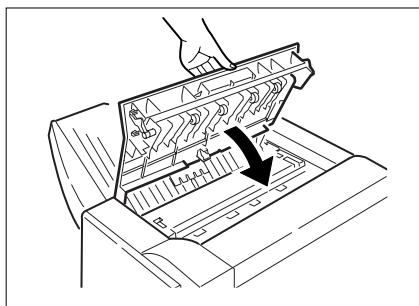
フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 インバーターのレバーを握りながら、インバーターをプリンタから引き離します。

7 インバーターの右側面の扉を開きます。

8 つまっている用紙があるときは取り除きます。

9 扉を閉めます。

10 インバーターを元の位置に戻し、プリンタに接続します。

これで完了です。

「フィニッシャーを確認してください／紙づまりです」と表示している時

最初に操作パネルの ◯ HELPボタンを押し、エラーコードの右側の数字を確認してください。

「フィニッシャー付近で紙づまりが発生しました」と表示している時

手順（1から6まであります。）

1 フィニッシャーユニットの排出部付近に用紙がある時には、取り除きます。

2 フィニッシャーのレバーを押しながら、フィニッシャーをインバーターから引き離します。

3 フィニッシャーのトップカバーを開けます。

4 つまっている用紙をそっと取り除きます。

5 フィニッシャーのトップカバーを閉じます。

⚠注意	けがをするおそれがあります。

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 フィニッシャーを元の位置に戻し、インバーターと接続します。

これで完了です。

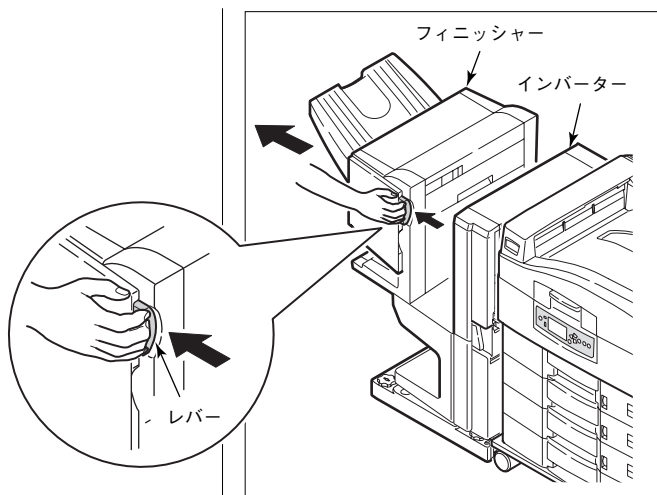
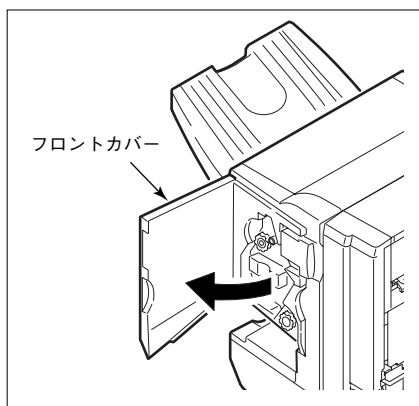
⚠注意	けがをするおそれがあります。	

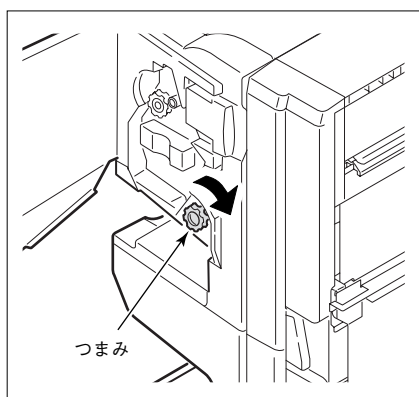
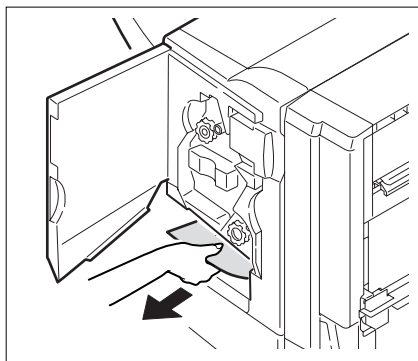
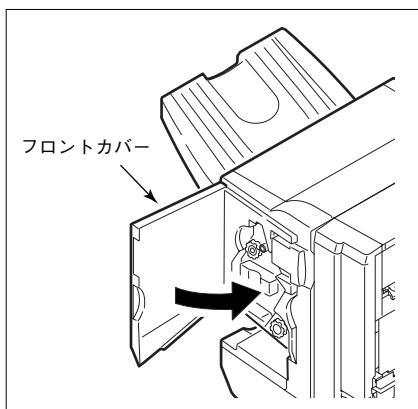
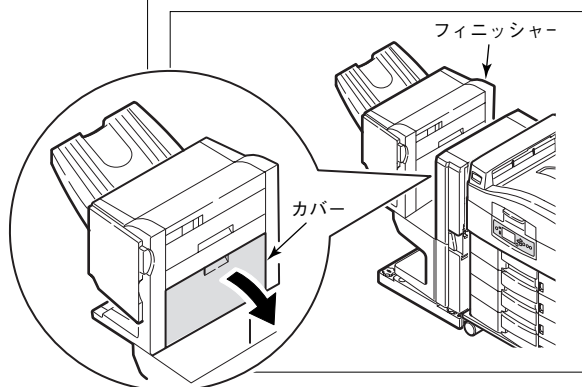
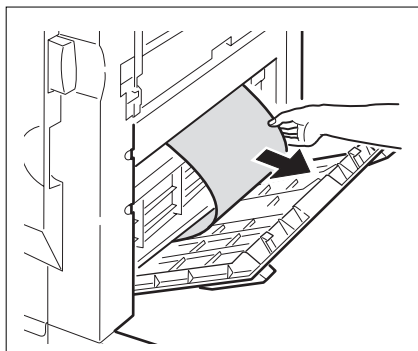
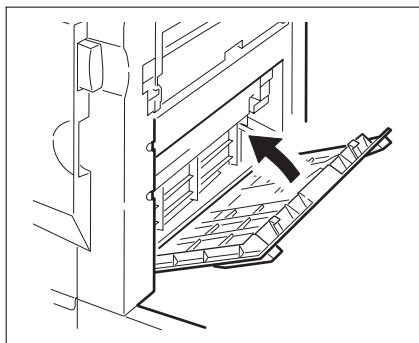
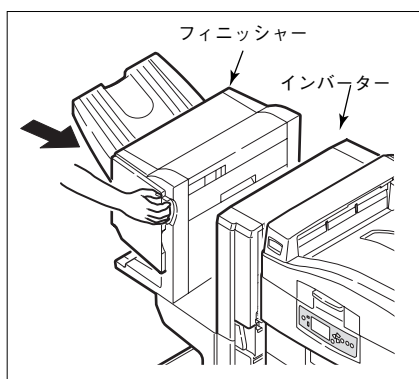
フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 困ったときには

「フィニッシャーの内部で紙づまりが発生しています」と表示している時

手順（1から9まであります。）

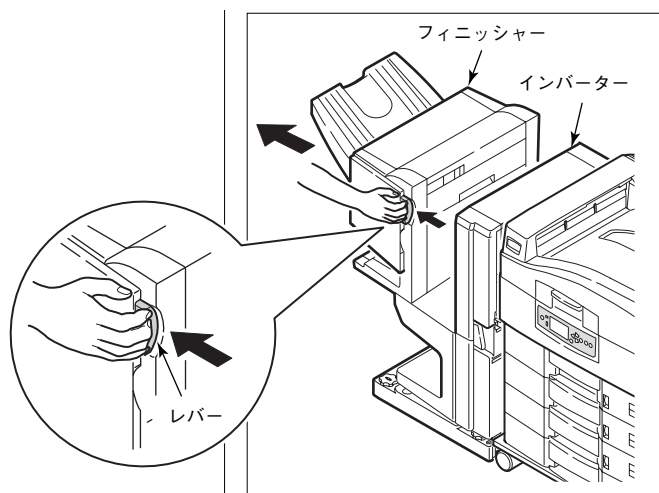
1 フィニッシャーのレバーを押しながら、フィニッシャーをインバーターから引き離します。

2 フィニッシャーのフロントカバーを開けます。

3 下のつまみを右に回し、つまっている用紙を製本トレイに排出します。

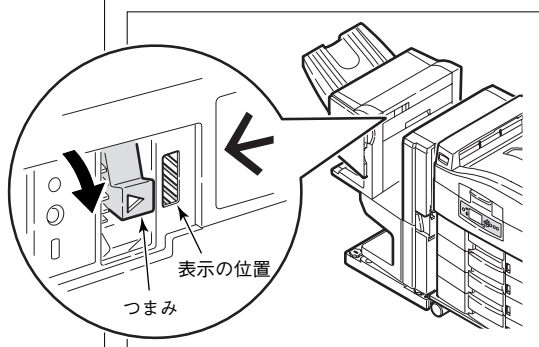
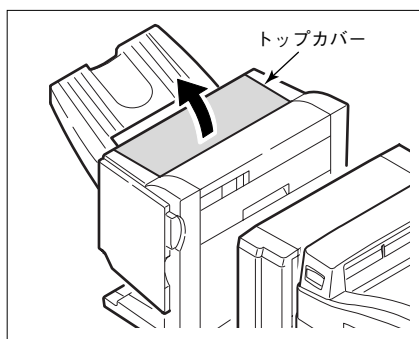
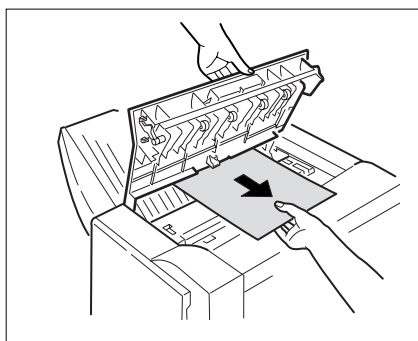
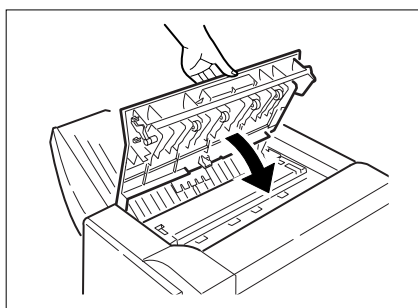
用紙を完全に排出するまで、つまみを回し続けます。

4 排出された用紙を取り除きます。

5 フィニッシャーのフロントカバーを閉じます。

6 フィニッシャーの右側面のカバーを開きます。

7 つまっている用紙がある場合は、そっと取り除きます。

8 カバーを閉じます。

9 フィニッシャーを元の位置に戻し、インバーターと接続します。

これで完了です。

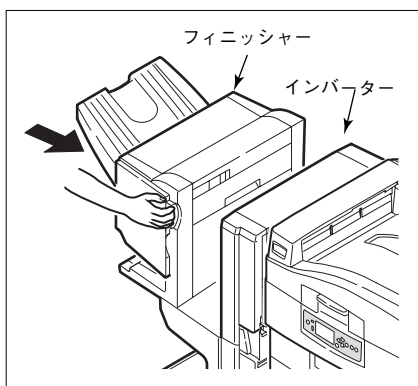
⚠注意 けがをするおそれがあります。

フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

「フィニッシャーで紙づまりが発生しました」と表示している時

手順（1から6まであります。）

1 フィニッシャーのレバーを押しながら、フィニッシャーをインバーターから引き離します。

2 フィニッシャーの右側面のつまみを回し、▷を表示の位置に合わせます。

3 フィニッシャーのトップカバーを開きます。

4 つまっている用紙をそっと取り除きます。

5 フィニッシャーのトップカバーを閉じます。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

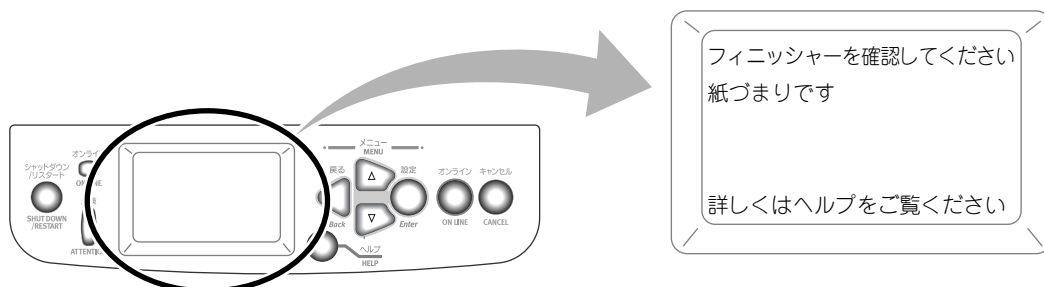
カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 フィニッシャーを元の位置に戻し、インバーターと接続します。

これで完了です。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

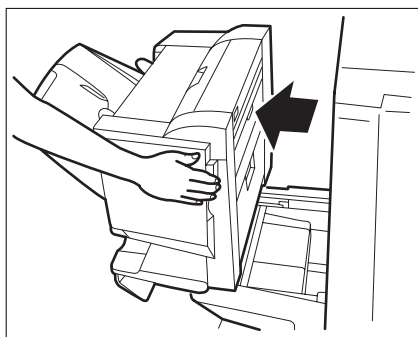
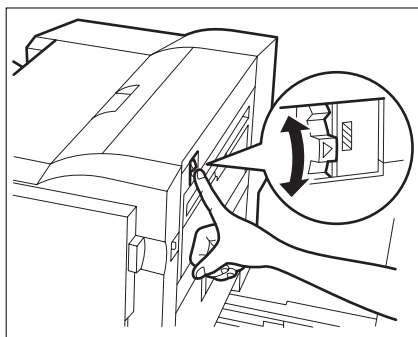
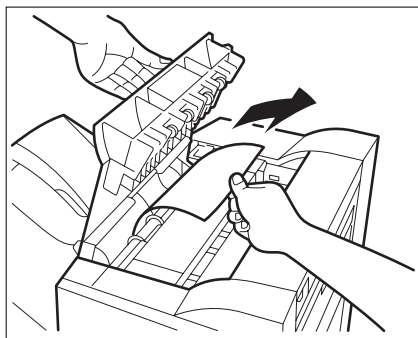
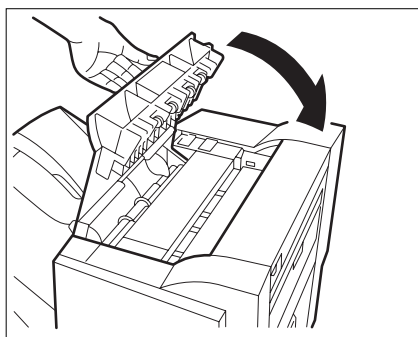
フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

パンチユニット(オプション)の紙づまりの処理

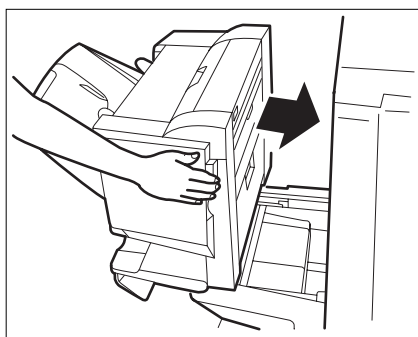
パンチ機能使用時に紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまりの位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従って紙を取り除いてください。

- 原稿づまりや紙づまりを取り除くときは、原稿や用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が機械内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を機械内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

メモ　この処理はオプンションのパンチユニット装着時のみ行います。

手順（1から6まであります。）

1 フィニッシャーを本体から引き離します。

2 ツマミを指定の範囲に合わせます。

3 トップカバーを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

4 トップカバーを閉じます。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 フィニッシャーを本体に接続します。

⚠注意	けがをするおそれがあります。	

フィニッシャーを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ

紙づまりの処理方法を示す画面については、「紙づまり」(66ページ)をご覧ください。

付　録

消耗品・オプション

これらの消耗品は、お近くの販売店またはサービス拠点でお求めください。
サービス拠点についてはプリンタ本体のユーザーズマニュアル　セットアップ編の「ユーザサポート
サービスについて」の「消耗品を購入したい」をご覧ください。

品　　名	型　名	内　　容
フィニッシャー用ステープルカートリッジ	MLSTC-C3A	フィニッシャーユニット専用針 5,000本×3個入り
フィニッシャー用パンチユニット	MLFPU-C3A	

- 消耗品は、必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用すると、フィニッシャーが故障するおそれがあります。
- 幼児の手が届かない所に保管してください。

付録

フィニッシャーの仕様

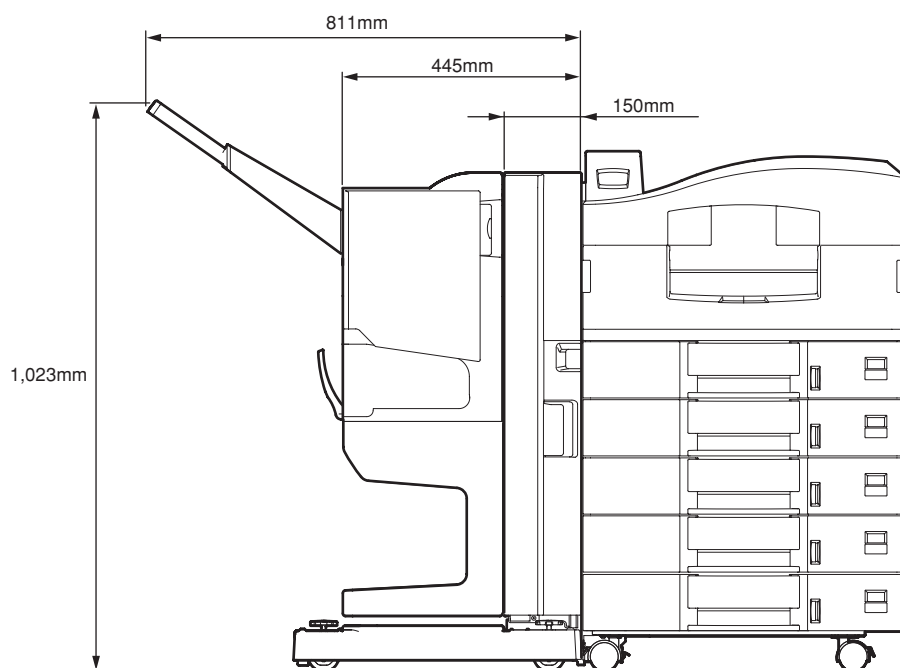
主な仕様

機能	ホチキス止め（ステープル）、簡易製本（サドル）、パンチ（オプション）、ジョブオフセット
排出方法	フィニッシャフェイスアップ フィニッシャフェイスダウン
スタック容量	フィニッシャフェイスアップ：約 1,000 枚 / 連量 70kg フィニッシャフェイスダウン：約 1,000 枚 / 連量 70kg （共にスタッカフル検知機能あり）
排出可能用紙サイズ	A3、A4（横送り）、A4（縦送り）、A5、A6、B4、B5（横送り）、B5（縦送り）、レター（横送り）、レター（縦送り）、タブロイド、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、はがき*[1]、往復はがき*[1]、封筒 角形２号*[1]、封筒 角形３号*[1]、C5*[1]、カスタム（幅 100 ～ 304.8mm、長さ 120 ～ 457.2m （フィニッシャフェイスダウンへの排出は 431.8mm まで））
排出可能用紙連量	フィニッシャフェイスアップ：連量 56kg ～ 230kg フィニッシャフェイスダウン：連量 56kg ～ 110kg
ステイプル止め可能用紙サイズ	A3、B4、A4（横送り）、A4（縦送り）、エグゼクティブ、B5（横送り）、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、レター（横送り）、レター（縦送り）、タブロイド
ステイプル止め可能枚数	A4/レター/エグゼクティブ/B5の場合 45枚（厚紙110g/m² 2枚 + 70g/m² 43枚） A3/B4/リーガルの場合 22枚（厚紙110g/m² 2枚 + 70g/m² 20枚）
ステイプル可能用紙連量	連量56kg～70kg (65g/m²～80g/m²) 連量70kg～110kg (80g/m²～128g/m²)は表紙として2枚までステイプル可能
簡易製本可能用紙	A3、A4、B4、レター、タブロイド
簡易製本可能用紙枚数	最大７枚 / 束（連量 70kg　６枚 + 最大厚紙 110kg　１枚）
パンチ可能用紙サイズ	長辺とじ：A4（横送り）、レター（横送り）、B5（横送り） 短辺とじ：A3、A4（縦送り）、B4、B5（縦送り）、レター（縦送り）、リーガル（13 インチ）、リーガル（13.5 インチ）、リーガル（14 インチ）、エグゼクティブ、タブロイド
パンチ可能用紙連量	連量 56kg ～ 110kg
電源	AC100 ～ 240V ± 10V、50/60Hz ± 1Hz
消費電力	動作時：最大 90W、平均：70W　待機時：26W 以下
使用環境	動作時：10 ～ 32℃／ 20 ～ 80%RH(最高湿球温度 25℃、最高乾球湿球温度差 2℃) 停止時：0 ～ 43℃／ 10 ～ 90%RH(最高湿球温度 26.8℃、最高乾球湿球温度差 2℃)
標準使用条件	平均電源 ON 時間　：600H ／月　平均印刷枚数　：16,600 枚／月
消耗品	フィニッシャー用ステープルカートリッジ
装置寿命	５年または 200 万枚　いずれか早い方
重量	約 60kg（インバーターを含む）
対応プリンタ	MLPro9800PS、ML9600PS
プリンタのオプショントレイの組み合わせ	セカンド + 大容量トレイユニット

*[1]：フィニッシャフェイスダウンでは排出できません。

付録

外形寸法

付録

オキカラーページプリンタ
MICROLINE Pro 9800PS-X/-S/-E
MICROLINE 9600PS
フィニッシャー

ユーザーズマニュアル

発行日　2005年 4月　第1版
発行者　株式会社 沖データ

43171101EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。

株式会社 沖データ
お客様相談センター
0120-654-632
(携帯電話からは03-5833-5710)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し 祝日を除く）